

長野市が実施したアンケート調査の整理
(都市計画マスタープラン改定に関する回答抜粋)

【アンケートの種類】

- ・長野市生活路線バス等に関する市民アンケート調査：1-A～1-F
- ・長野市生活路線バス等の利用者アンケート調査：2-A～2-B
- ・長野市の公共施設に関する市民アンケート調査：3-A～3-D
- ・長野市人口分析基礎調査アンケート（1）市民意識アンケート：4-A～4-L
- ・長野市人口分析基礎調査アンケート（2）高校生意識アンケート：5-A～5-E
- ・長野市人口分析基礎調査アンケート（3）市外居住者意識アンケート：6-A～6-G
- ・農業振興に関する農業者アンケート：7-A～7-H

各アンケートと都市計画マスタープラン第1編「3. 現況と都市づくりの課題」各項目対応表

都市づくりの課題に対応する視点	長野市実施アンケート
人口減少・少子高齢社会に対応した土地利用、都市構造に関する課題	
①人口減・少子高齢化に向けた対応	1-A～F、2-A、3-A・B、 4-A・B・F～L、 5-A～E、6-E～G
②公共交通の確保	1-A～F、2-A・B
③中心市街地の活性化	2-B、5-A～E、6-C・D
④広域市町村連携の必要性	なし
⑤中山間地域などの整備と地域間の連携強化	7-A～H
長野らしさを活かした都市づくりの課題 長野の魅力（歴史、文化、自然）の都市づくりへの取り込み	4-C～F、5-A～E、 6-A～G
自然環境の保全と都市環境整備に関する課題	
①自然環境の保全と市街地の緑の充実	6-D・E
②地球温暖化防止に関する都市づくりでの対応	1-A・F
防災都市づくりに関する課題_大規模災害への備え	4-A・B
公・民の連携（協働、パートナーシップ）に関する課題	
①都市の資産（ストック）の活用	3-A～D
②まちづくりにおけるパートナーシップの重要性	4-H

1. 長野市生活路線バス等に関する市民アンケート調査

調査の実施概要

(1) 調査の目的

長野市地域公共交通総合連携計画策定の基礎資料とするため平成21年度に行ったアンケート調査と同様の調査を実施し、前回調査結果との比較・分析による総合連携計画実施後の状況を把握することを目的とする。

(2) 実施方法

アンケート調査は、平成21年度と同様に、市民（バス以外で移動している方も含む）を対象にする「長野市生活路線バス等に関する市民アンケート調査（以下、『市民アンケート調査』と呼称）」と、利用者を対象とする「長野市生活路線バス等の利用者アンケート調査（以下、『利用者アンケート調査』と呼称）」の2種類実施した。

実施の方法は下記のとおりである。

表 アンケート調査の実施方法

	市民アンケート調査
調査対象	<ul style="list-style-type: none">市内全域(13地区に分類)から2000世帯抽出配布地域に偏りがないように地区別の世帯数等を考慮して地区別の配布数を割当し、住民基本台帳から無作為抽出
配布方法	<ul style="list-style-type: none">世帯主に直接郵送配布1世帯に対して2部封入15歳以上の世帯員のうち、2名が代表して回答
回収方法	<ul style="list-style-type: none">アンケート調査票に同封する返信用封筒にて回収回答期限(最寄りの郵便ポストへの投函期限)は平成25年8月4日とし、配布から締切までは概ね2週間程度とした

(3) 配布・回収状況

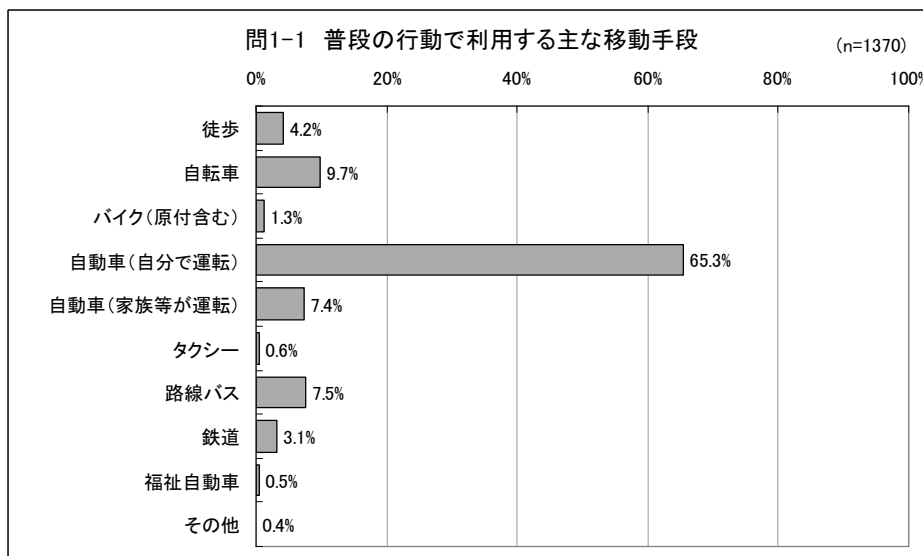
以下に示すとおりであり、予定数はすべて配布しているものの、市民アンケートの一部(35票)分については、宛先不明で事務局に返送されてきている。

なお、アンケートは2種類とも、平成25年8月4日までを投函期限としたが、8月末までに到着したものを回答データの入力および集計対象とした。(郵便の有効期日が8月31日までであるため以下が最終の回収状況となる。)

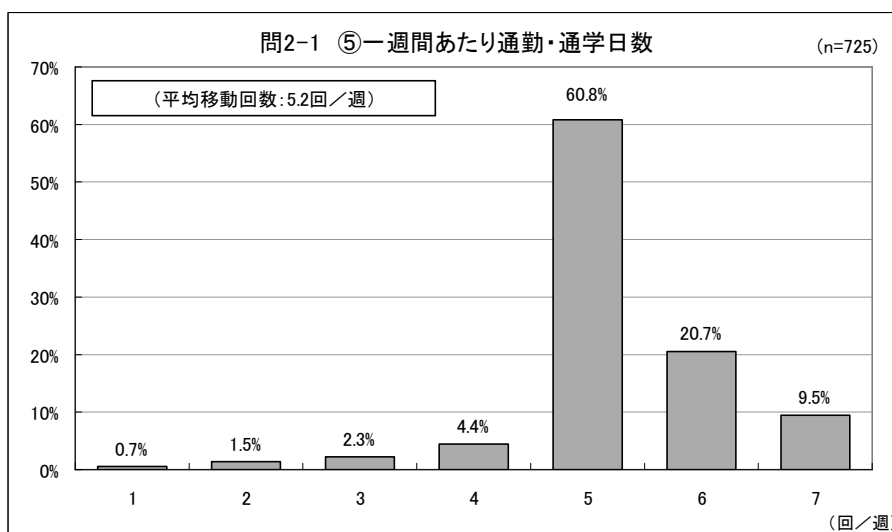
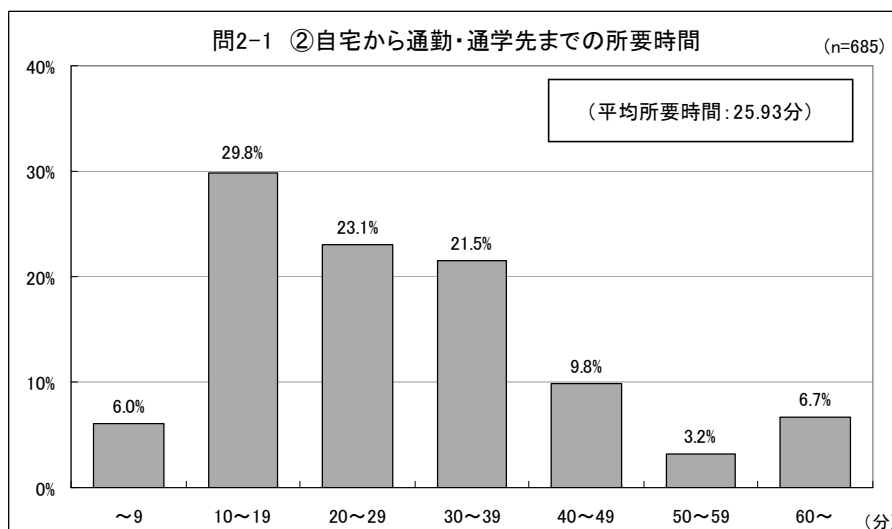
表 配布・回収状況

	配布	回収			備考
		世帯数	人数	回収率	
市民アンケート	2,000	838	1,487	41.9%	回収率は世帯回収ベース
利用者アンケート	1,000	-	362	36.2%	

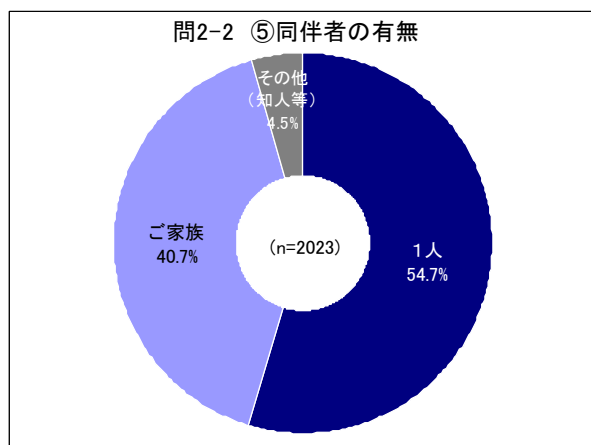
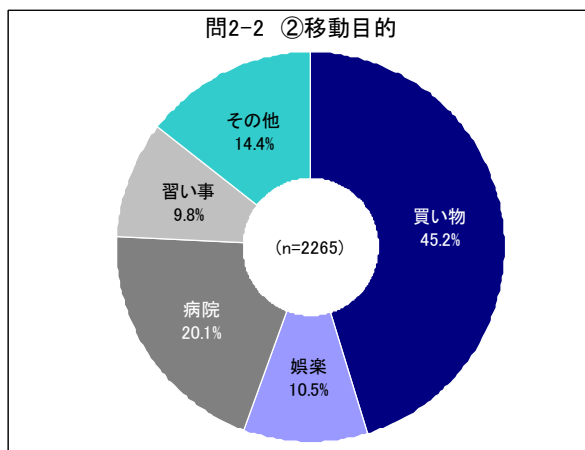
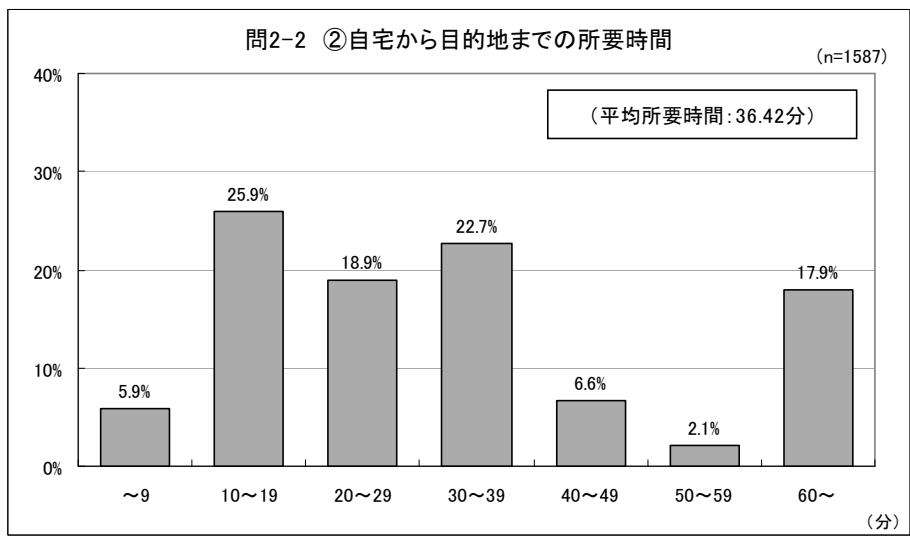
1-A. 普段の行動で移動する主な移動手段



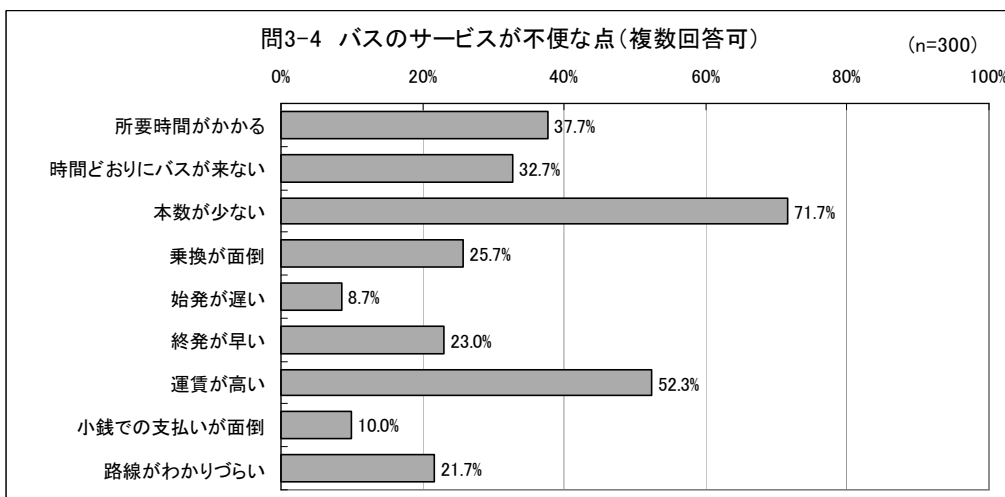
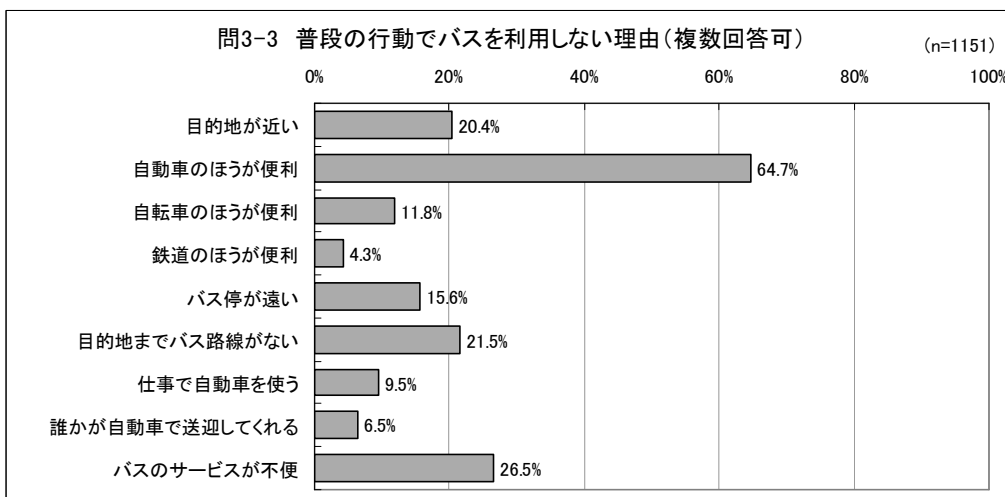
1-B. 通勤・通学時の所要時間、出勤日数



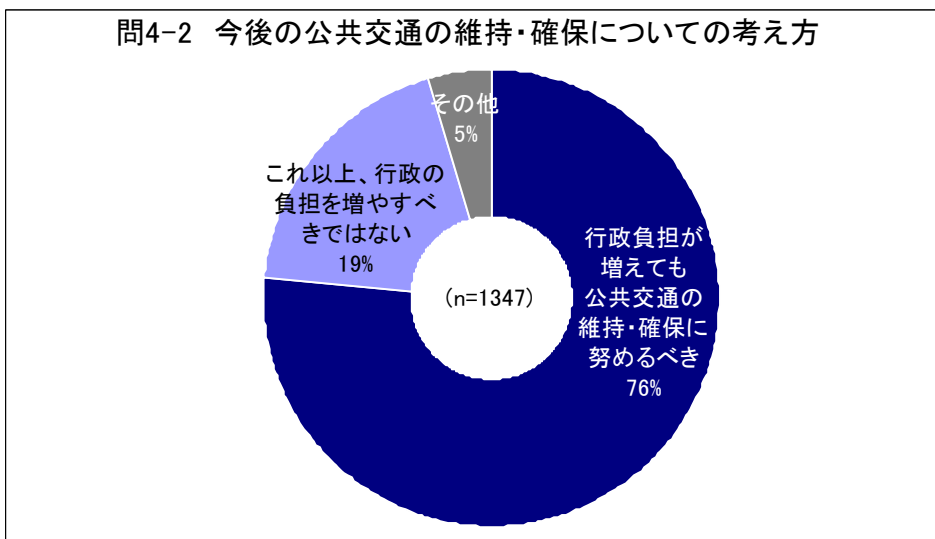
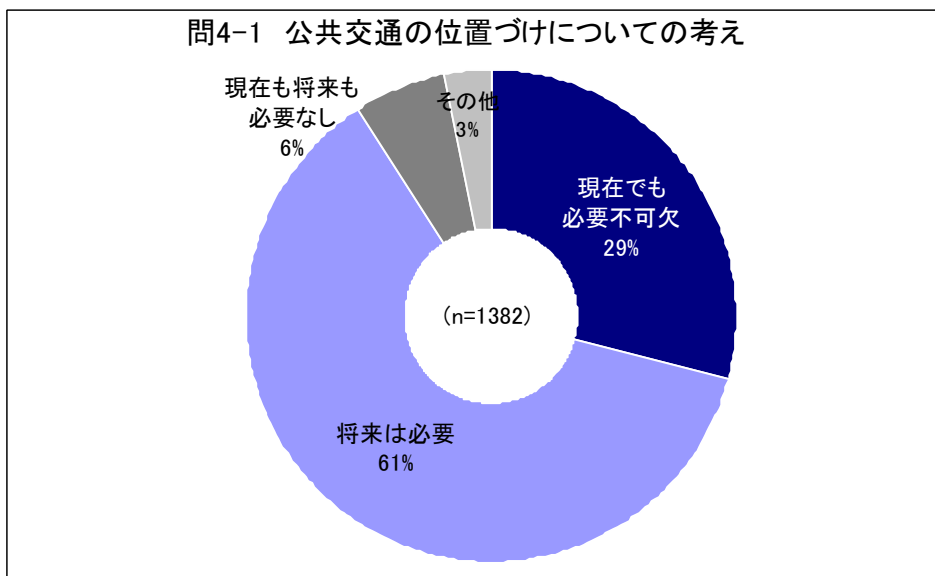
1-C. 通勤・通学以外（買い物など）の行動の所要時間、移動目的、同伴者の有無



1-D. 路線バスを利用しない理由（普段路線バス以外で移動している者のみ回答）

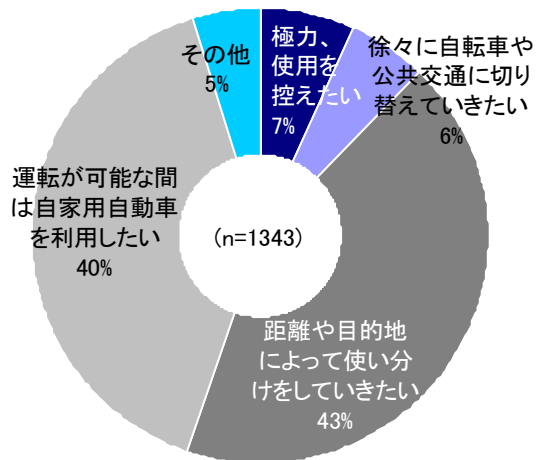


1-E. 市内の公共交通のあり方

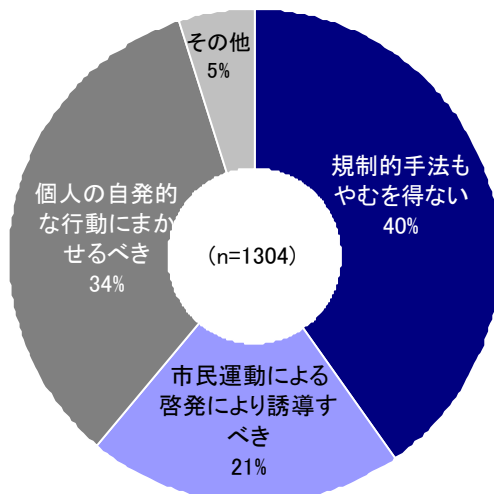


1-F. 今後の自家用車利用

問4-3 今後の自家用自動車の利用についての考え方



問4-4 市街地への自動車流入抑制についての考え



2. 長野市生活路線バス等の利用者アンケート調査

調査の実施概要

(1) 調査の目的

長野市地域公共交通総合連携計画策定の基礎資料とするため平成21年度に行ったアンケート調査と同様の調査を実施し、前回調査結果との比較・分析による総合連携計画実施後の状況を把握することを目的とする。

(2) 実施方法

アンケート調査は、平成21年度と同様に、市民（バス以外で移動している方も含む）を対象にする「長野市生活路線バス等に関する市民アンケート調査（以下、『市民アンケート調査』と呼称）」と、利用者を対象とする「長野市生活路線バス等の利用者アンケート調査（以下、『利用者アンケート調査』と呼称）」の2種類実施した。

実施の方法は下記のとおりである。

表 アンケート調査の実施方法

	利用者アンケート調査
調査対象	<ul style="list-style-type: none">市内バス利用者 1000 名バス停別乗降人員の多いバス停（長野駅善光寺口※・東口、昭和通り、権堂、長野バスターミナル）、病院最寄りバス停で最も乗降数の多いバス停（日赤）、長野駅を通過しないバス路線が集積するバス停（篠ノ井駅）の計 7 バス停 ※善光寺口駅前広場改修工事に伴い、千石入口と末広町でも配付した。
配布方法	<ul style="list-style-type: none">バス利用者に調査票を直接手渡し（平成 25 年 7 月 19 日に配布）配布物が比較的かさばるため、目的地から自宅に帰宅する途中で渡した方が望ましいと考えて、帰宅時（私事：昼午後＋通勤通学：夕方時間帯）のタイミングをねらって配布
回収方法	<ul style="list-style-type: none">アンケート調査票に同封する返信用封筒にて回収回答期限（最寄りの郵便ポストへの投函期限）は平成 25 年 8 月 4 日とし、配布から締切までは概ね 2 週間程度とした

(3) 配布・回収状況

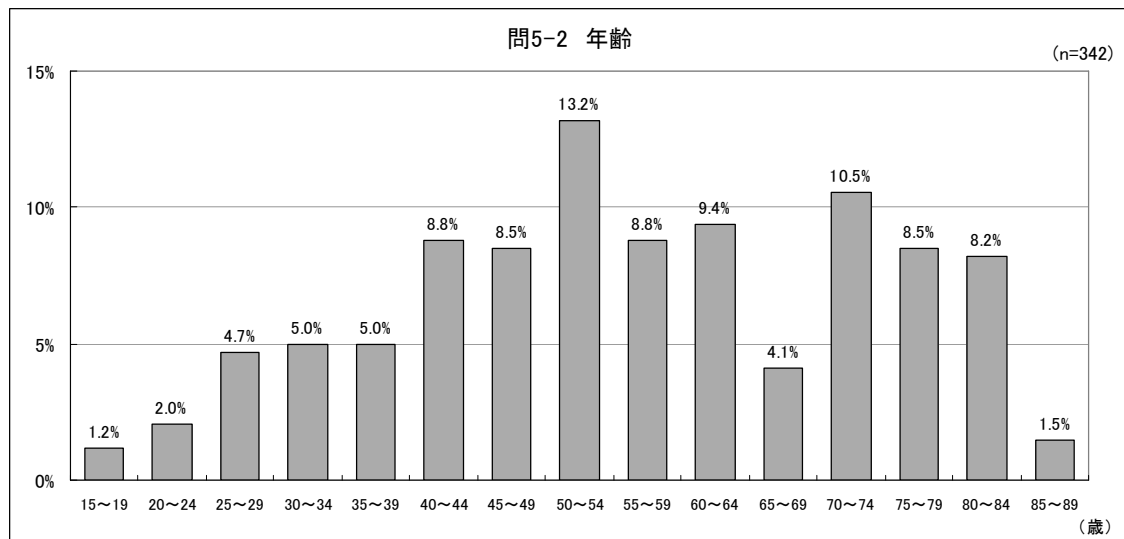
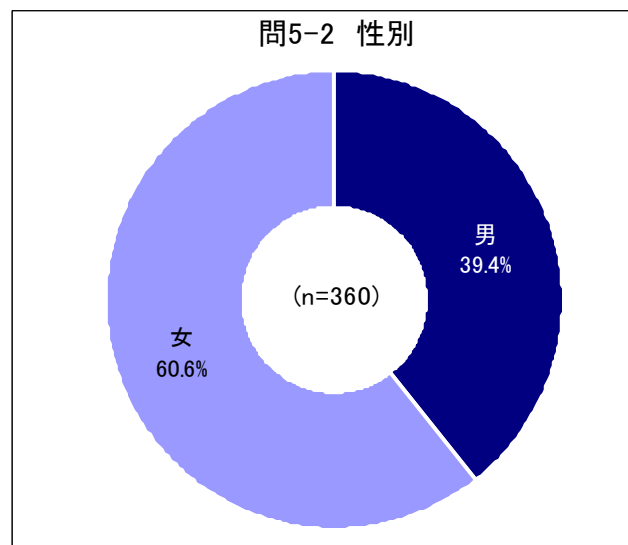
以下に示すとおりであり、予定数はすべて配布しているものの、市民アンケートの一部（35 票）分については、宛先不明で事務局に返送されてきている。

なお、アンケートは2種類とも、平成25年8月4日までを投函期限としたが、8月末までに到着したものを回答データの入力および集計対象とした。（郵便の有効期日が8月31日までであるため以下が最終の回収状況となる。）

表 配布・回収状況

	配布	回収			備考
		世帯数	人数	回収率	
市民アンケート	2,000	838	1,487	41.9%	回収率は世帯回収ベース
利用者アンケート	1,000	-	362	36.2%	

2-A. 利用者の属性



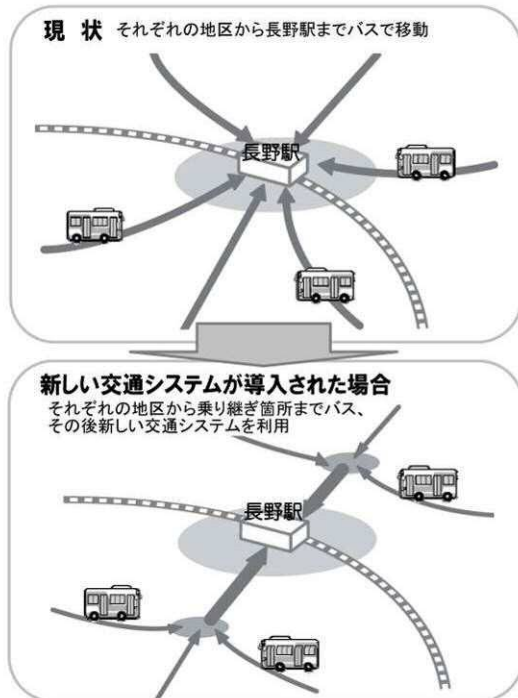
2-B. 新たな交通システムが導入された場合の行動について

3 新たな交通システムが導入された場合の行動についておたずねします。

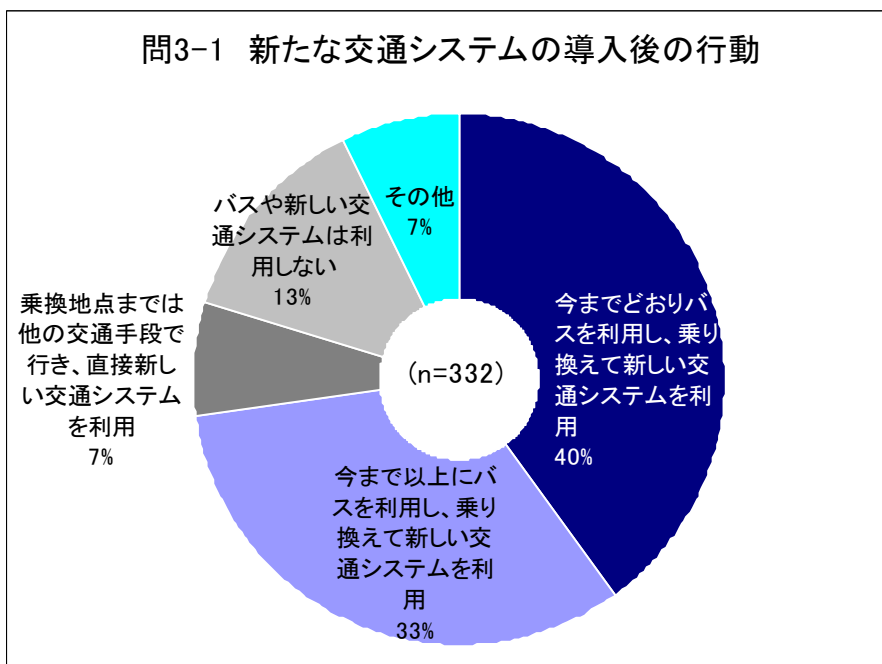
長野駅を中心とした南北方向軸に、大量輸送ができる新しい交通システム(次世代型路面電車や大型接続バスなど)を導入してはどうかという議論があります。

新たな交通システムが導入されますと、長野駅までの幹線路線をこの交通システムが担い、ご自宅付近から導入区間までの輸送を既存路線バスが担います。このため、既存路線バスは1便当たりの運行時間が短縮され、運行本数の増加が期待される一方で、乗り換えが必要となります。

新しい交通システムのイメージ



問3-1 新たな交通システムの導入後の行動



3. 長野市の公共施設に関する市民アンケート調査

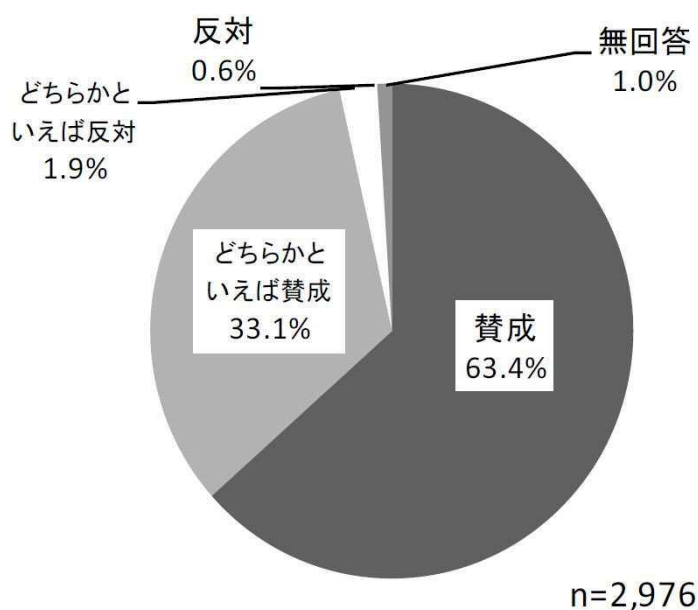
1 調査概要

調査対象先：平成 26 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳により、20 歳以上の市民を地区別年齢順に並び替え、等間隔無作為に 5,000 人を抽出
 回答者数：2,976 人（回収率：59.5%）
 調査期間：平成 26 年 10 月 17 日（金）（発送日）～平成 26 年 10 月 31 日（金）
 調査方法：郵送配布・郵送回収
 調査内容：過去 1 年間の公共施設利用状況、公共施設マネジメントの基本的な考え方に対する賛否、公共施設の複合化・多機能化に対する賛否、利用者負担の見直しに対する考え方、公共施設サービス提供への民間活力の導入に対する賛否 等

※四捨五入の関係から、構成比の合計が 100%にならない箇所があります。

3-A. 施設の適正な配置と規模への見直し

問 長野市は、将来の人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応するため、できるかぎり今までのサービスを維持しながら、施設の適正な配置と規模への見直しを行っていく必要があると考えています。この考え方についてどう思われますか。



	賛成		どちらかとい えば賛成		どちらかとい えば反対		反対		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20代	143	63.8%	74	33.0%	5	2.2%	2	0.9%	0	0.0%
30代	218	59.2%	139	37.8%	5	1.4%	5	1.4%	1	0.3%
40代	321	60.7%	188	35.5%	9	1.7%	3	0.6%	8	1.5%
50代	345	62.4%	194	35.1%	8	1.4%	5	0.9%	1	0.2%
60代	458	67.7%	198	29.2%	12	1.8%	2	0.3%	7	1.0%
70代以上	400	64.6%	190	30.7%	16	2.6%	2	0.3%	11	1.8%
無回答	2	33.3%	2	33.3%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%
計	1,887	63.4%	985	33.1%	56	1.9%	19	0.6%	29	1.0%

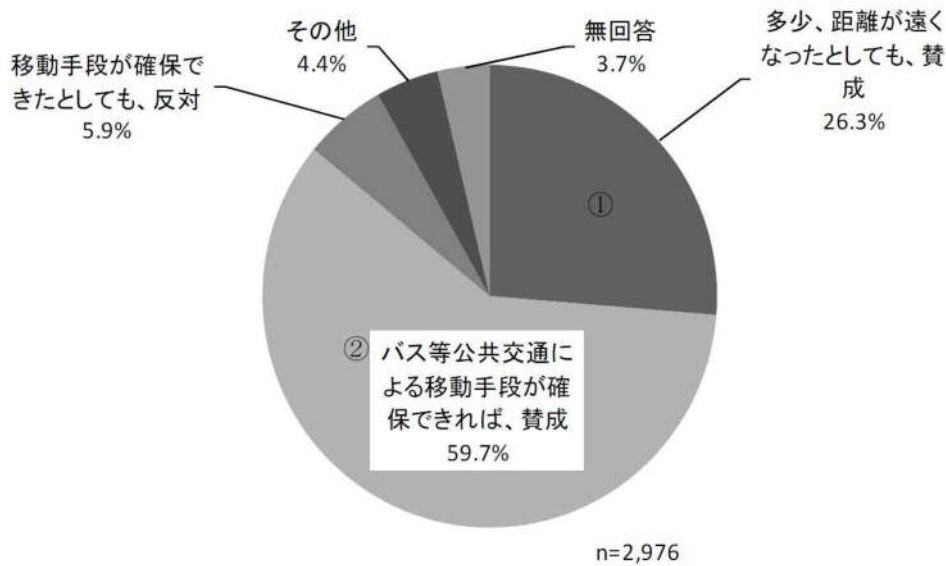
3-B. 施設の複合化・多機能化

問 長野市は今後、人口減少や少子高齢化が進んでいく時代の変化に対応し、効果的、効率的に公共施設の量を縮小していく一つの方法として、施設の複合化・多機能化※に取り組んでいこうと考えています。

施設の複合化・多機能化を進めていくと、サービスを受ける場所が、現在ある施設の場所から遠くなることも考えられます。このことについてどう思われますか。

※施設の複合化・多機能化とは

いくつかの行政サービスを1つの施設に集約したり、1つの施設でいろいろな利用方法を展開することで、利用者の利便性を高める施設とするものです。複合化は、ホール、階段、廊下などを共有することにより、施設の維持管理にかかる経費を抑える効果があり、多機能化は、子どもから高齢者までの多世代が利用することにより、世代間の交流なども期待されます。

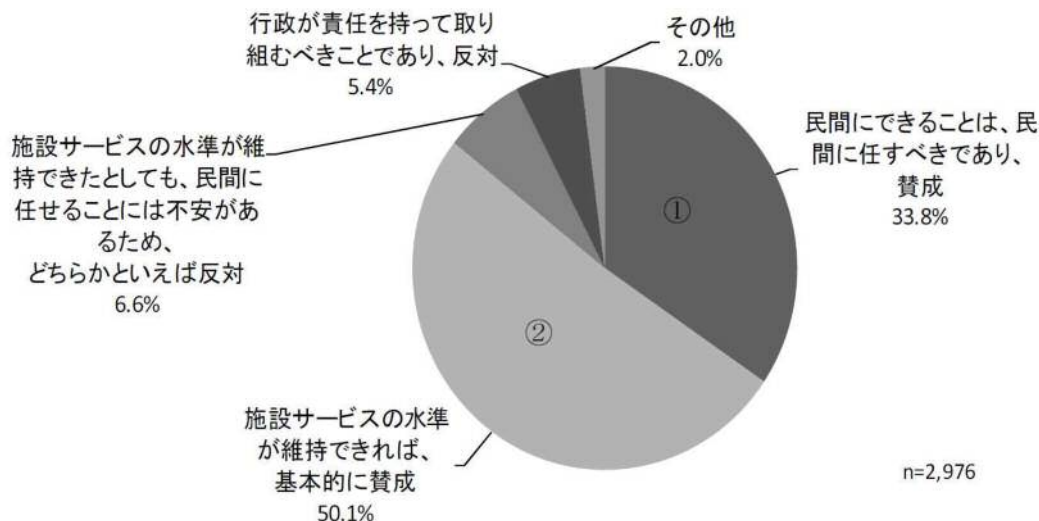


	① 多少、距離が遠くなったとしても賛成		② 公共交通による移動手段確保で賛成		③ 移動手段確保できても反対		④ その他		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
20代	44	19.6%	157	70.1%	12	5.4%	6	2.7%	5	2.2%
30代	105	28.5%	202	54.9%	23	6.3%	28	7.6%	10	2.7%
40代	148	28.0%	305	57.7%	31	5.9%	27	5.1%	18	3.4%
50代	132	23.9%	352	63.7%	35	6.3%	20	3.6%	14	2.5%
60代	185	27.3%	395	58.3%	47	6.9%	34	5.0%	16	2.4%
70代以上	169	27.3%	361	58.3%	27	4.4%	17	2.7%	45	7.3%
無回答	0	0.0%	4	66.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	33.3%
計	783	26.3%	1,776	59.7%	175	5.9%	132	4.4%	110	3.7%

3-C. 公共施設サービス提供への民間活力の導入

問 長野市は今後、財政状況がより厳しくなっていく一方で、公共施設の維持管理、改修や建替え費用が増加していくと予測されることから、行政だけで対応していくことは相当な困難が予想されます。

そのため、民間の資金やノウハウ（技術・知識）の活用など、公共施設サービスの提供に民間活力の導入を積極的に進めていきたいと考えていますが、このことについてどう思われますか。



	①		②		③		④		⑤		無回答	
	民間に任せるべきであり、賛成	割合	施設サービスの水準が維持出来れば、基本的に賛成	割合	民間に任せるのは不安があるため、どちらかといえば反対	割合	行政が責任を持って取り組むべきであり、反対	割合	その他	割合	無回答	割合
20代	66	29.5%	125	55.8%	18	8.0%	9	4.0%	3	1.3%	3	1.3%
30代	135	36.7%	187	50.8%	20	5.4%	13	3.5%	9	2.4%	4	1.1%
40代	198	37.4%	263	49.7%	25	4.7%	25	4.7%	12	2.3%	6	1.1%
50代	172	31.1%	300	54.2%	33	6.0%	27	4.9%	16	2.9%	5	0.9%
60代	232	34.3%	332	49.0%	56	8.3%	36	5.3%	12	1.8%	9	1.3%
70代以上	200	32.3%	282	45.6%	44	7.1%	50	8.1%	8	1.3%	35	5.7%
無回答	2	33.3%	2	33.3%	0	0.0%	1	16.7%	0	0.0%	1	16.7%
計	1,005	33.8%	1,491	50.1%	196	6.6%	161	5.4%	60	2.0%	63	2.1%

3-D. 長野市の公共施設マネジメントに期待すること

問 長野市が公共施設マネジメントを進めていくにあたり、特に期待することは何ですか。あなたの考えに近いものを2つ選んでください。(複数回答)

※公共施設マネジメントとは、将来の人口減少や少子高齢化など社会情勢の変化に対応するため、公共施設のあるべき姿を検討し、公共施設の「量」と「質」を見直す取組です。

【選択肢】

- ①公共施設の複合化・多機能化により、施設の保有量を減らすこと
- ②新たな施設は建設せずに、民間などで同様のサービスを行っている場合は、それらの施設を利用し、連携していくこと
- ③計画的な改修を行って、施設の長寿命化を図り、施設の建替えや維持管理にかかる費用を減らすこと
- ④施設の管理運営や改修・建替えや民間のアイデアを募ったり、民間資金を活用するなど民間活力を導入すること
- ⑤使用料などの利用者負担の適正化を図ること
- ⑥その他



	①		②		③		④		⑤		その他	
	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	割合	
20代	84	37.5%	120	53.6%	86	38.4%	71	31.7%	34	15.2%	1	0.4%
30代	139	37.8%	207	56.3%	118	32.1%	137	37.2%	40	10.9%	5	1.4%
40代	197	37.2%	290	54.8%	154	29.1%	194	36.7%	63	11.9%	11	2.1%
50代	190	34.4%	286	51.7%	170	30.7%	231	41.8%	49	8.9%	6	1.1%
60代	257	38.0%	383	56.6%	174	25.7%	252	37.2%	72	10.6%	7	1.0%
70代以上	197	31.8%	303	48.9%	172	27.8%	203	32.8%	85	13.7%	6	1.0%
無回答	2	33.3%	1	16.7%	2	33.3%	2	33.3%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,066	35.8%	1,590	53.4%	876	29.4%	1,090	36.6%	343	11.5%	36	1.2%

4. 長野市人口分析基礎調査アンケート（1）市民意識アンケート

調査の概要

（1）調査の目的

「長野市人口ビジョン」及び「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に当たり、市民を対象としたアンケートを行い、長野市での暮らしや人口減少問題に関する意識などを把握することで、本市が目指すべき将来の方向性や、市民の希望を実現するための基本的な施策の方向性を検討するものである。なお、本調査結果は、「第五次長野市総合計画」を策定する際の基礎資料としても活用する。

（2）調査対象

○長野市内に在住の20歳以上の男女

（3）標本の抽出

○住民基本台帳（平成27年4月20日現在）からの等間隔無作為抽出

（4）標本総数

○5,000人

（5）調査方法

○返信用封筒を同封した、質問票送付によるアンケート調査方式

（6）調査期間

○平成27年5月7日（木）から5月20日（水）まで

（7）回収結果

○送付標本数 5,000 通

○無効（未送達、返送）標本数 21 通

○有効（送達）標本数 4,979 通

○回収標本数 3,154 通

○回収率 63.3%

（8）集計方法

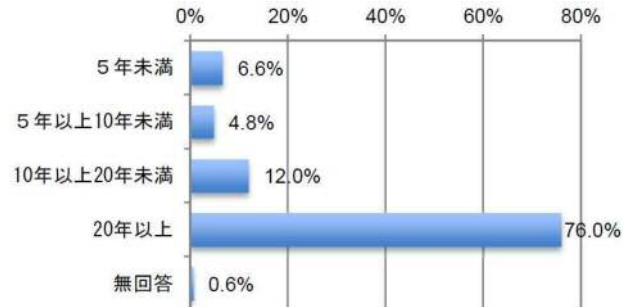
○電子計算機による集計（委託）

4-A. 居住年数

問 長野市の居住年数（該当する番号1つに○をつけてください。）

※ 合併前の町村の居住も含み、通算でお答えください。

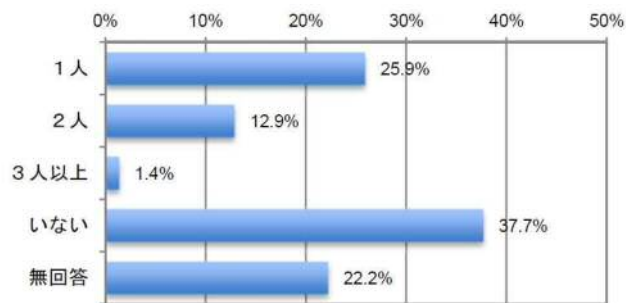
選択肢	回答数	割合
1. 5年未満	209	6.6%
2. 5年以上10年未満	152	4.8%
3. 10年以上20年未満	378	12.0%
4. 20年以上	2,396	76.0%
無回答	19	0.6%
合計	3,154	100.0%



4-B. 高齢者を含む世帯

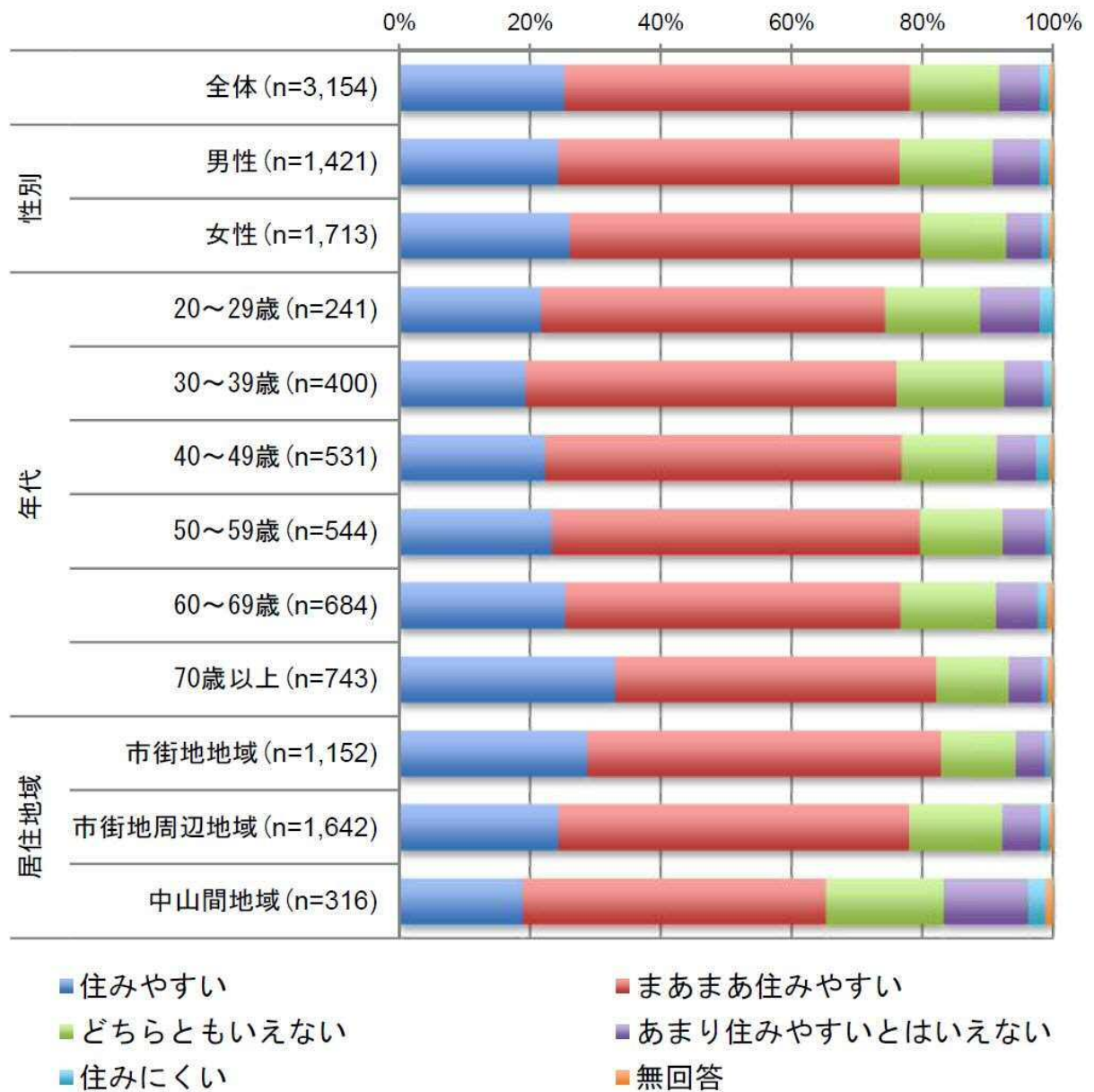
問 現在、「65歳以上」の方と同居していますか。（該当する番号1つに○をつけてください。）

選択肢	回答数	割合
1. 1人	817	25.9%
2. 2人	406	12.9%
3. 3人以上	43	1.4%
4. いない	1,188	37.7%
無回答	700	22.2%
合計	3,154	100.0%



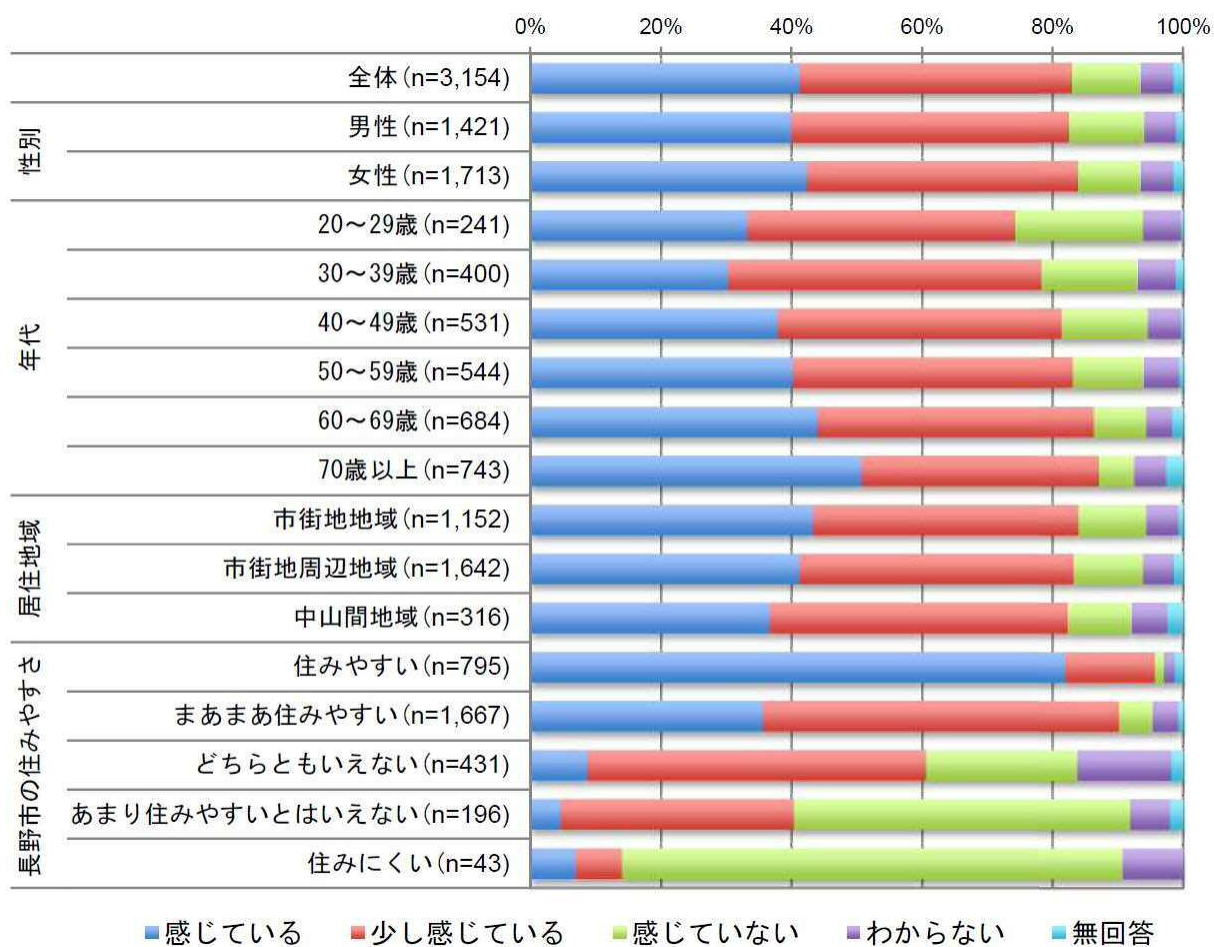
4-C. 住みやすさ

問 あなたにとって、長野市は住みやすいまちですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)



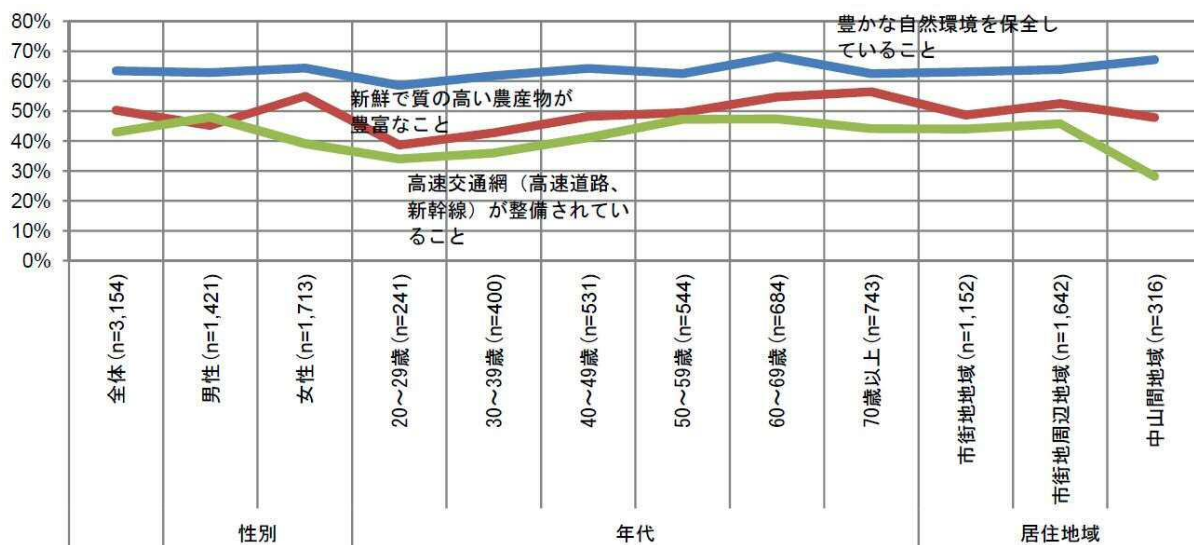
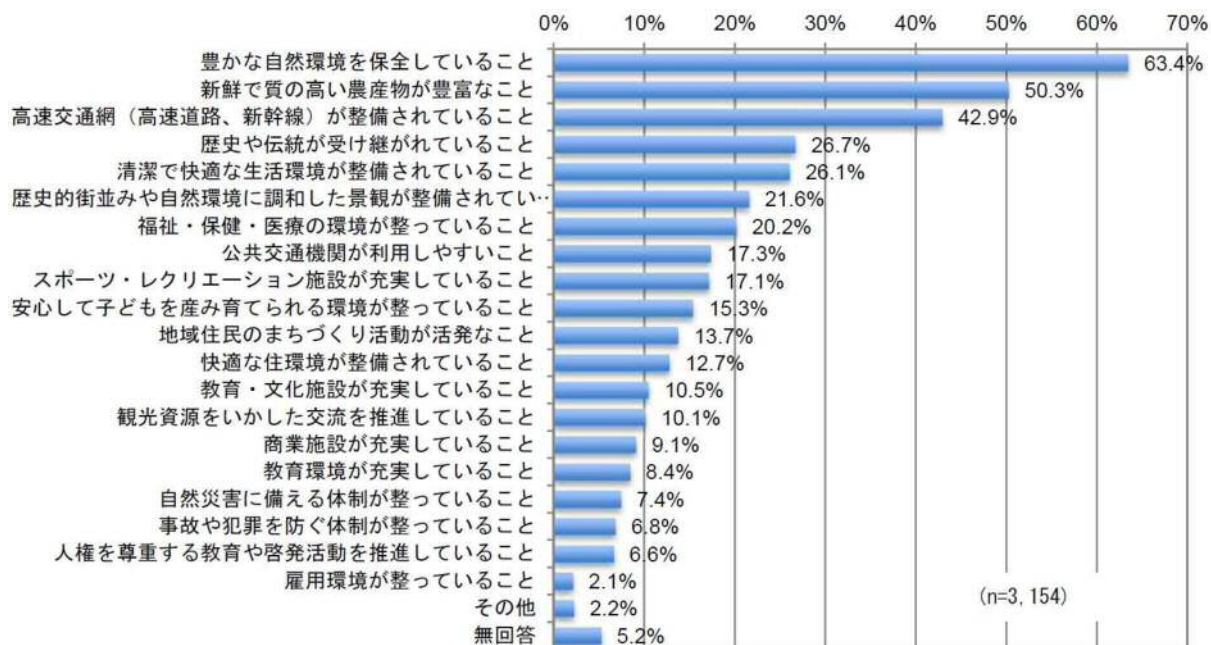
4-D. 愛着や誇り

問 あなたは長野市に愛着や誇りを感じますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)



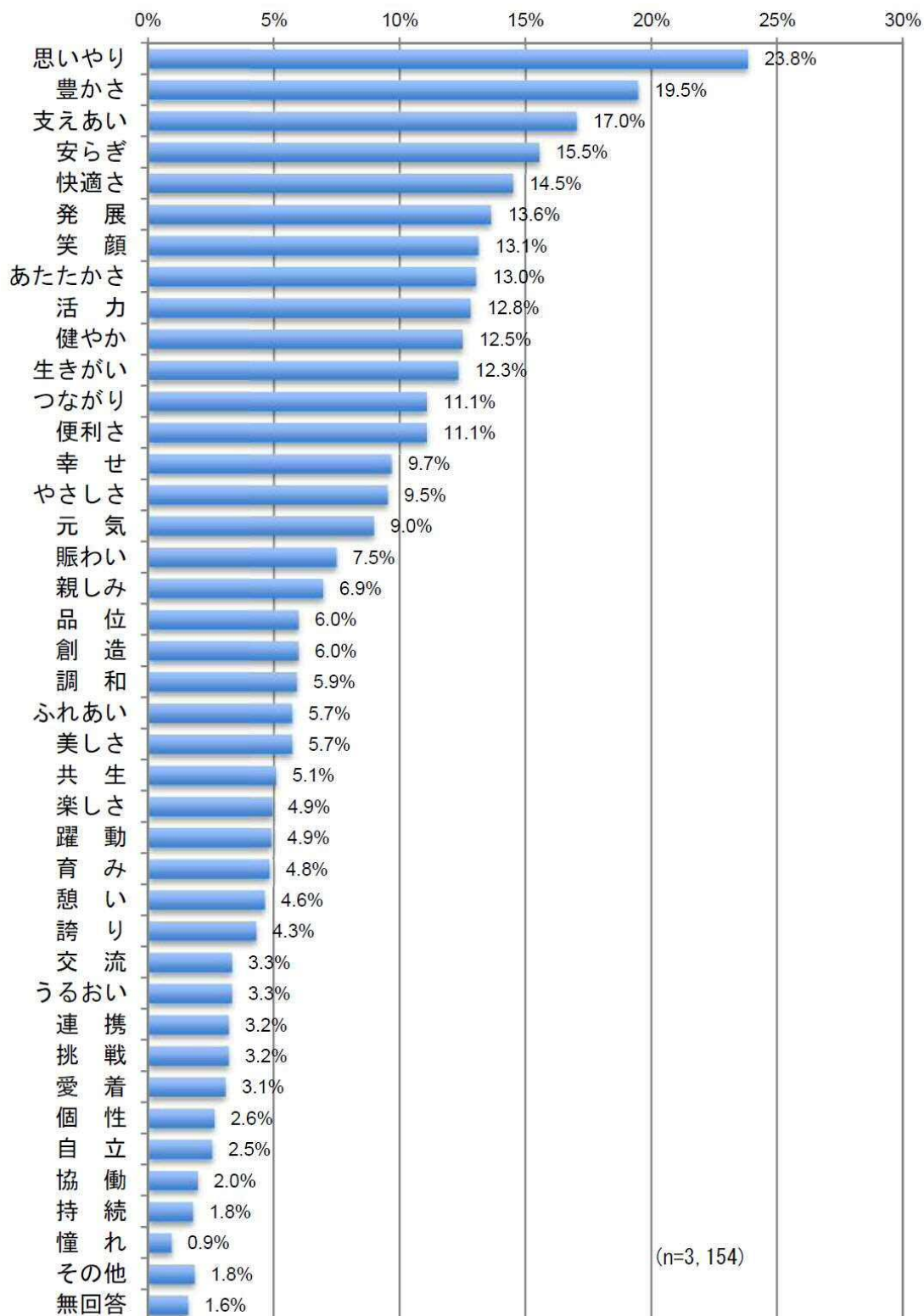
4-E. 魅力

問 あなたは長野市のどんなところに魅力を感じますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)



4-F. 将来の長野市

問 あなたは、今後の長野市が目指す「まちの姿」を表現する「言葉（キーワード）」として、次のうちどれがふさわしいと思いますか。（該当する番号3つに○をつけてください。）



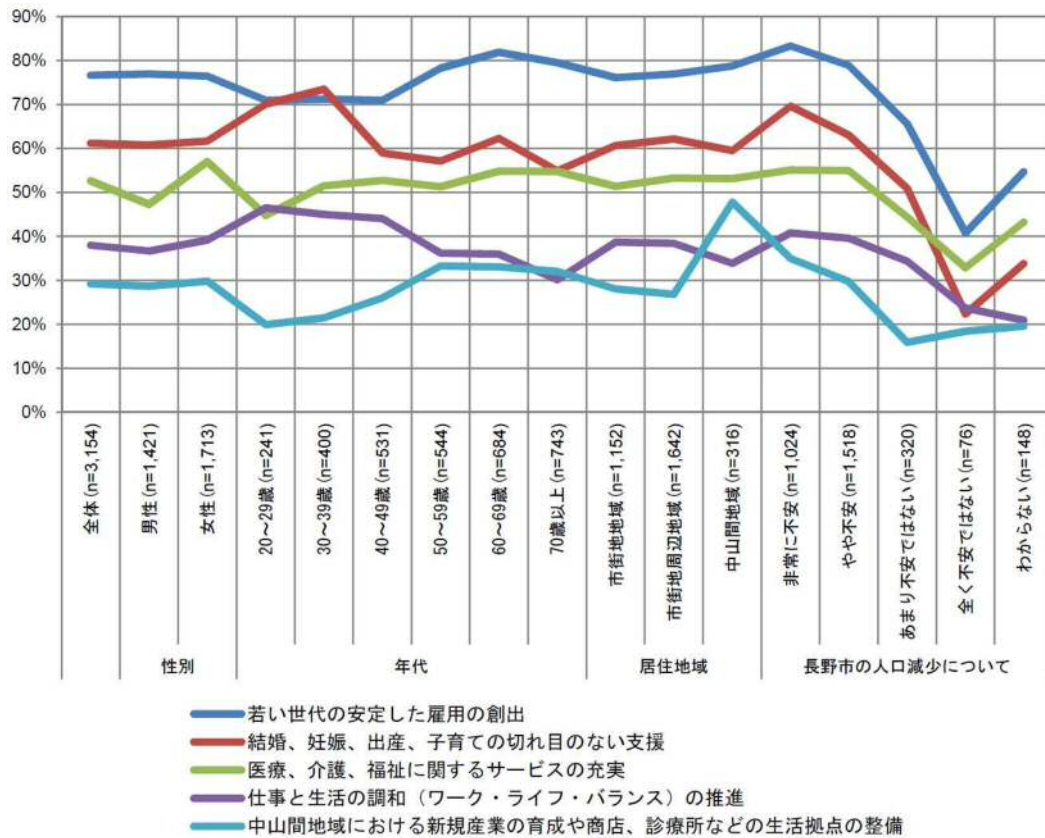
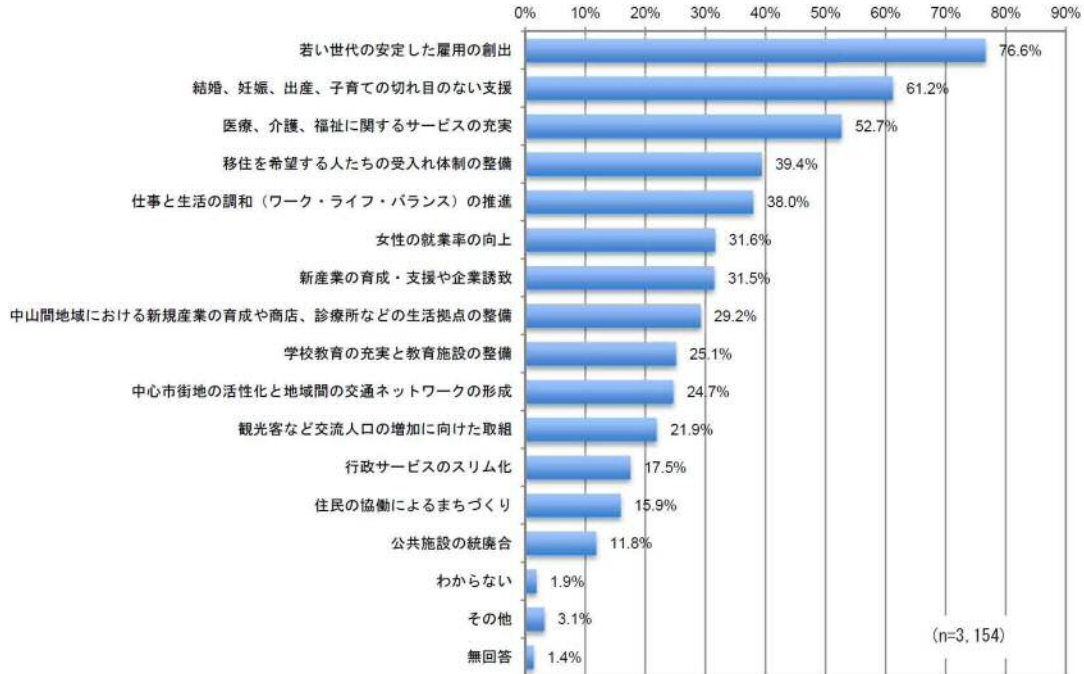
(上位5項目)

順位	全体 (n=3,154)	性別		年代					
		男性 (n=1,421)	女性 (n=1,713)	20~29歳 (n=241)	30~39歳 (n=400)	40~49歳 (n=531)	50~59歳 (n=544)	60~69歳 (n=684)	70歳以上 (n=743)
1位	思いやり (23.8%)	思いやり (21.9%)	思いやり (25.5%)	豊かさ (20.3%)	豊かさ (21.5%)	思いやり (21.7%)	豊かさ (20.6%)	思いやり (28.9%)	思いやり (30.8%)
2位	豊かさ (19.5%)	豊かさ (19.1%)	支えあい (21.0%)	発展 (19.9%)	思いやり (18.8%)	豊かさ (17.9%)	思いやり (17.3%)	支えあい (20.8%)	支えあい (20.3%)
3位	支えあい (17.0%)	安らぎ (16.3%)	豊かさ (19.8%)	思いやり (16.6%)	笑顔 (17.8%)	快適さ (17.7%)	安らぎ (15.8%)	豊かさ (19.0%)	生きがい (19.2%)
4位	安らぎ (15.5%)	快適さ (15.7%)	笑顔 (15.9%)	安らぎ (16.6%)	つながり (16.3%)	安らぎ (16.9%)	快適さ (15.8%)	生きがい (17.8%)	豊かさ (19.0%)
5位	快適さ (14.5%)	発展 (13.8%)	安らぎ (14.9%)	あたたかさ (16.2%)	発展 (14.8%)	支えあい (15.1%)	支えあい (14.2%)	安らぎ (16.1%)	安らぎ (15.1%)

順位	長野市の住みやすさ					長野市への愛着		
	住みやすい (n=795)	まあまあ住 みやすい (n=1,667)	どちらとも いえない (n=431)	あまり住み やすいとは いえない (n=196)	住みにくい (n=43)	感じている (n=1,299)	少し感じて いる (n=1,318)	感じていな い(n=331)
1位	思いやり (25.8%)	思いやり (24.2%)	思いやり (20.9%)	思いやり (21.4%)	発展 (23.3%)	思いやり (25.9%)	思いやり (24.1%)	思いやり (18.7%)
2位	豊かさ (19.1%)	豊かさ (19.8%)	豊かさ (20.0%)	豊かさ (18.9%)	支えあい (18.6%)	豊かさ (19.4%)	豊かさ (19.5%)	豊かさ (18.7%)
3位	支えあい (17.5%)	支えあい (17.9%)	発展 (16.5%)	発展 (17.3%)	快適さ (18.6%)	支えあい (18.9%)	支えあい (16.8%)	発展 (18.4%)
4位	安らぎ (15.8%)	安らぎ (15.9%)	支えあい (15.3%)	便利さ (16.3%)	便利さ (18.6%)	あたたかさ (15.9%)	安らぎ (15.9%)	便利さ (16.6%)
5位	笑顔 (15.0%)	快適さ (14.1%)	快適さ (14.6%)	安らぎ (15.3%)	賑わい (18.6%)	安らぎ (15.2%)	快適さ (14.9%)	快適さ (15.7%)

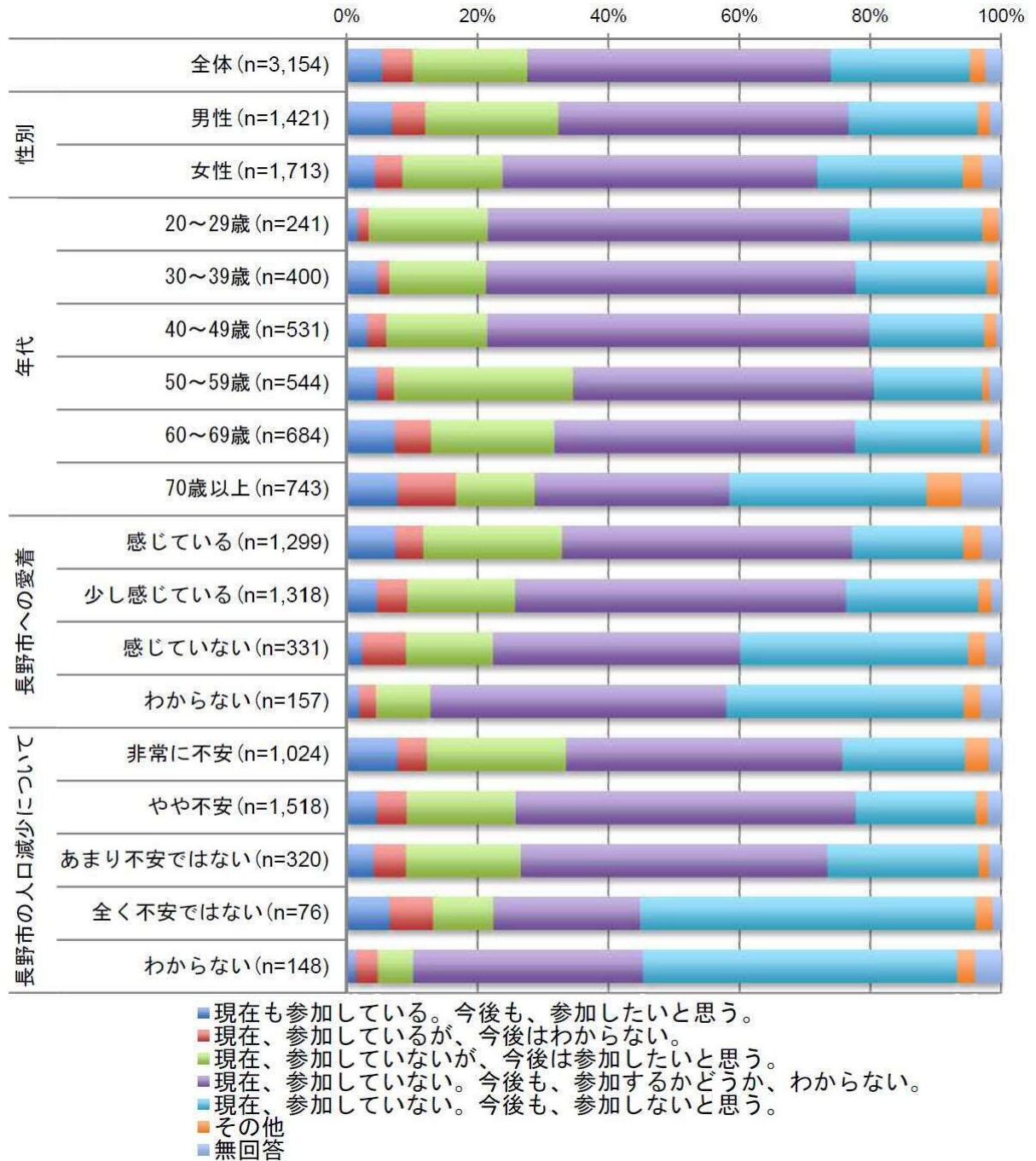
4-G. 人口減少への取り組み

問 人口が減少していく中、どのような取組が必要だと思いますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)



4-H. 協働のまちづくりへの参加意向

問 人口が減少していく中、あなた自身でNPOや市民活動に参加し、協働のまちづくりに参加したいと思いますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)



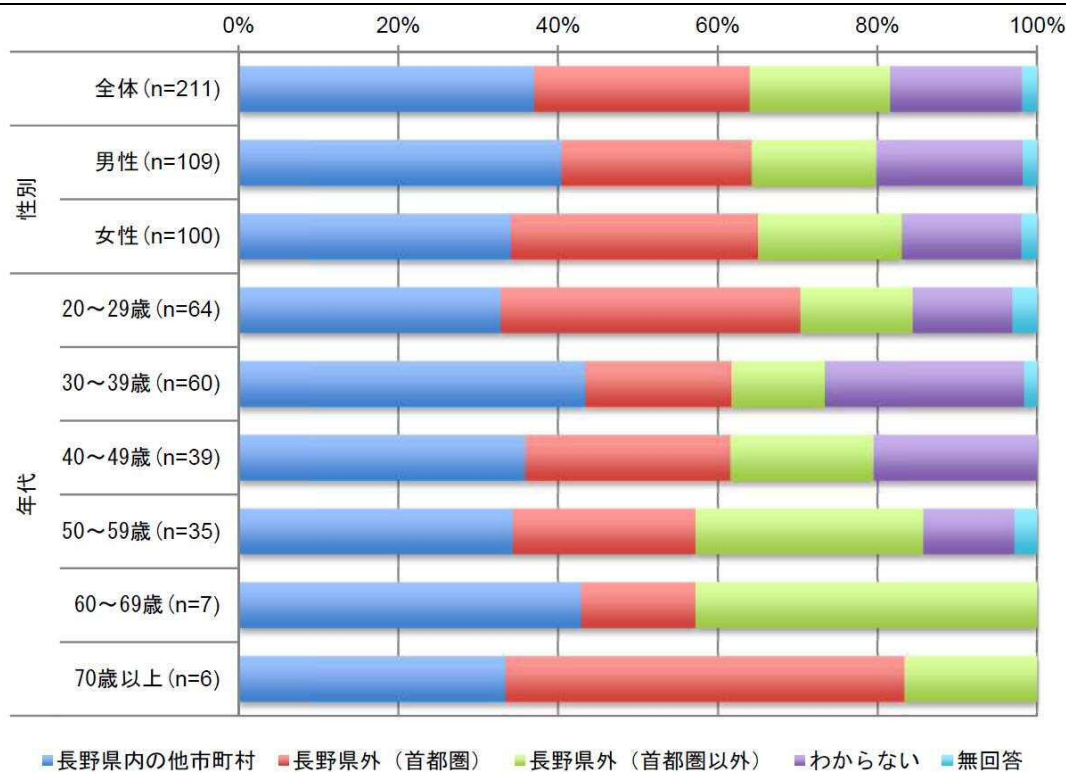
4-I. 転出意向

問 あなたは、5年以内に長野市から転出する可能性はありますか。(該当する番号つに○をつけてください。)



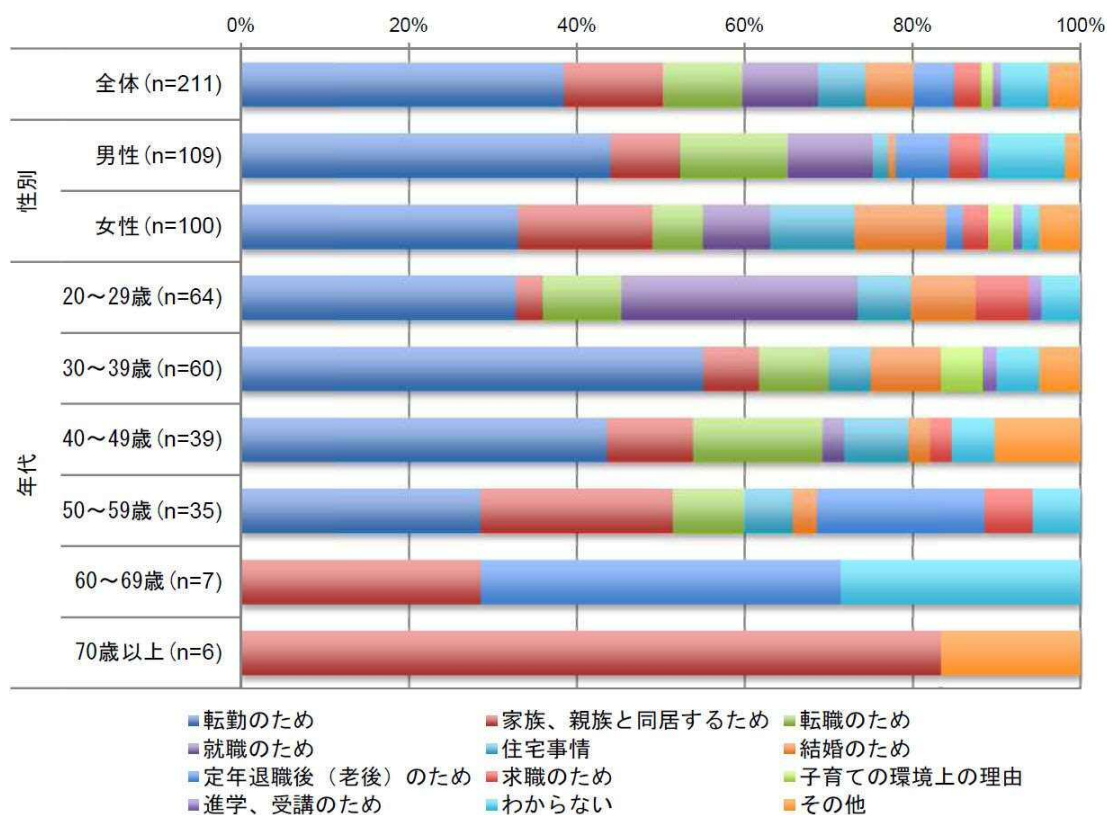
4-J. 転出意向

問 転出するとした場合、居住する可能性がある地域はどこですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)



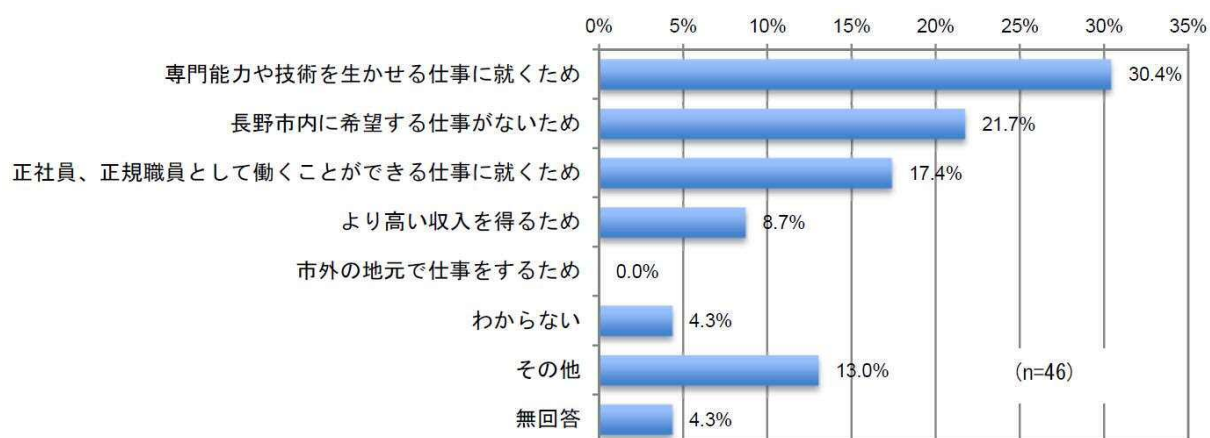
4-K. 転出意向の理由

問 転出すると考えられる理由は何ですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)



4-L. 転出意向の理由

問 長野市外で就職、転職、求職を希望する理由は何ですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)



5. 長野市人口分析基礎調査アンケート（2）高校生意識アンケート

調査の概要

（1）調査の目的

「長野市人口ビジョン」及び「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に当たり、本市の高等学校等に在籍する生徒に対して、進路や就職、結婚、長野市についてどのように考えているかを調査し、将来を担う若い世代の意識や行動を把握することで、本市が目指すべき将来の方向性や基本的な施策の方向性を検討するものである。なお、本調査結果は、「第五次長野市総合計画」を策定する際の基礎資料としても活用する。

（2）調査対象

○長野市内の高等学校、高等専門学校及び特別支援学校高等部に在籍する3年生等（最終学年在籍生徒）

（3）調査方法

○各学校に配布した質問票によるアンケート調査方式

（4）調査期間

○平成27年5月15日（金）から5月21日（木）まで

（5）回収結果

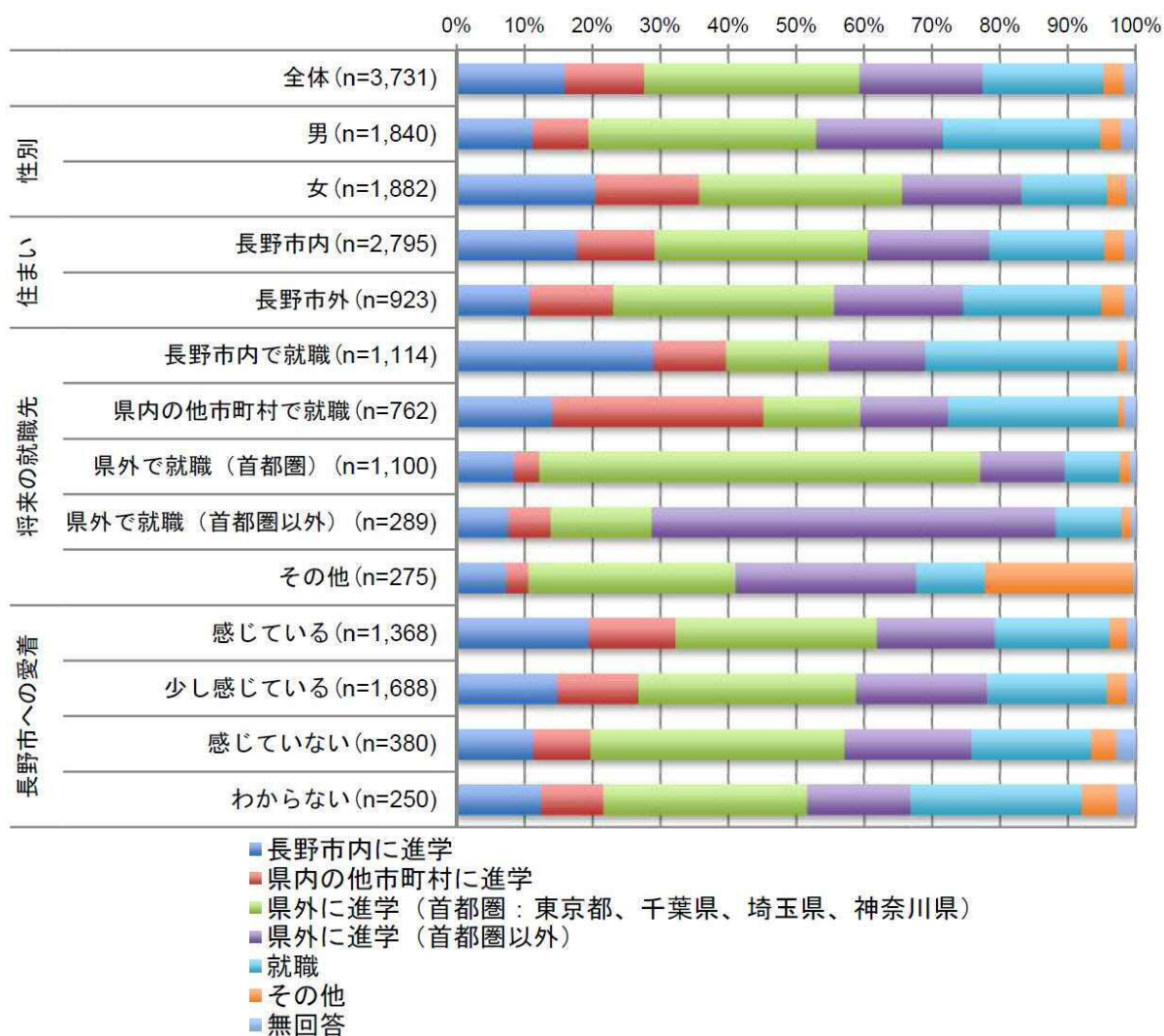
○回収標本数 3,731 通

（6）集計方法

○電子計算機による集計（委託）

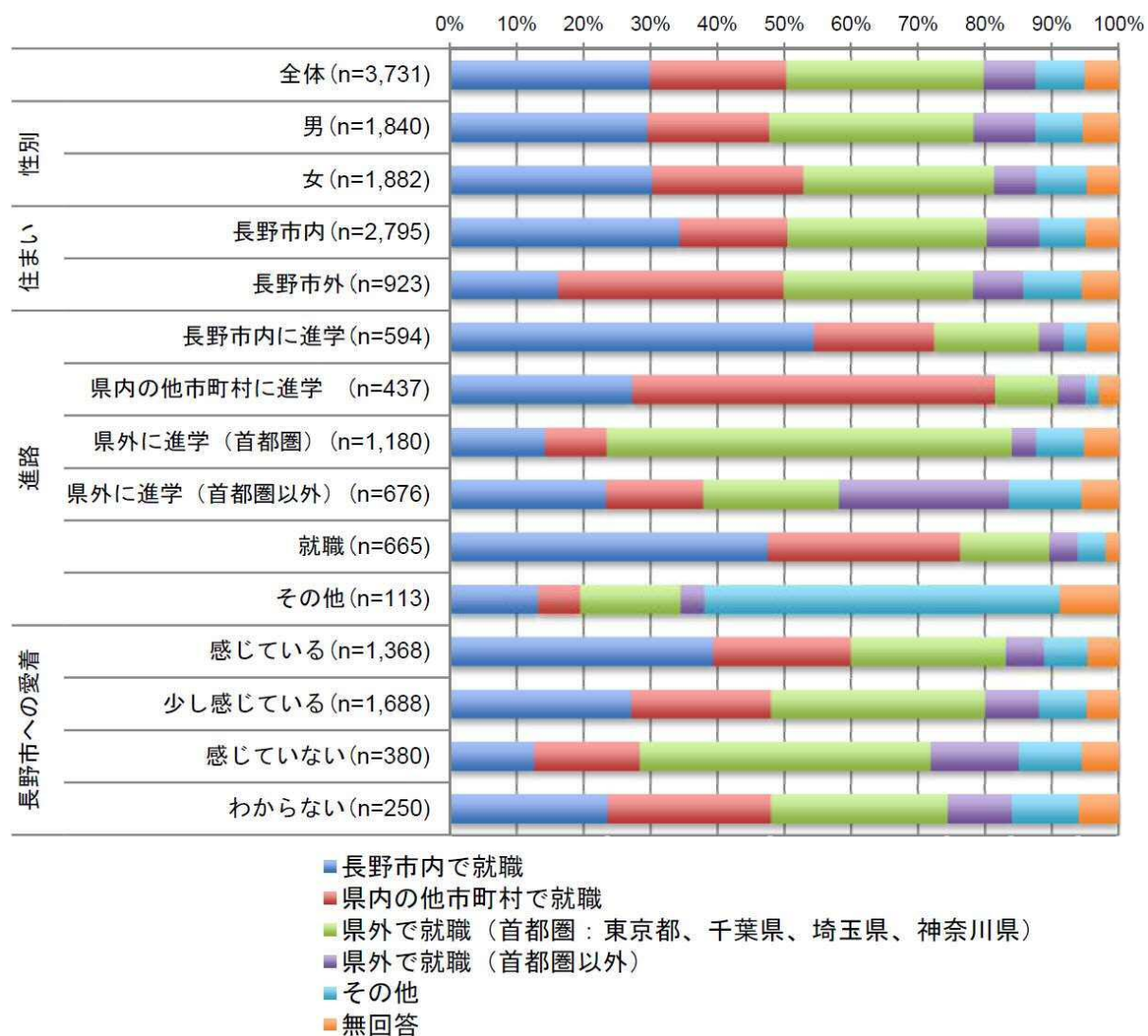
5-A. 希望進路

問 現在希望している進路（該当する番号1つに○をつけてください。）



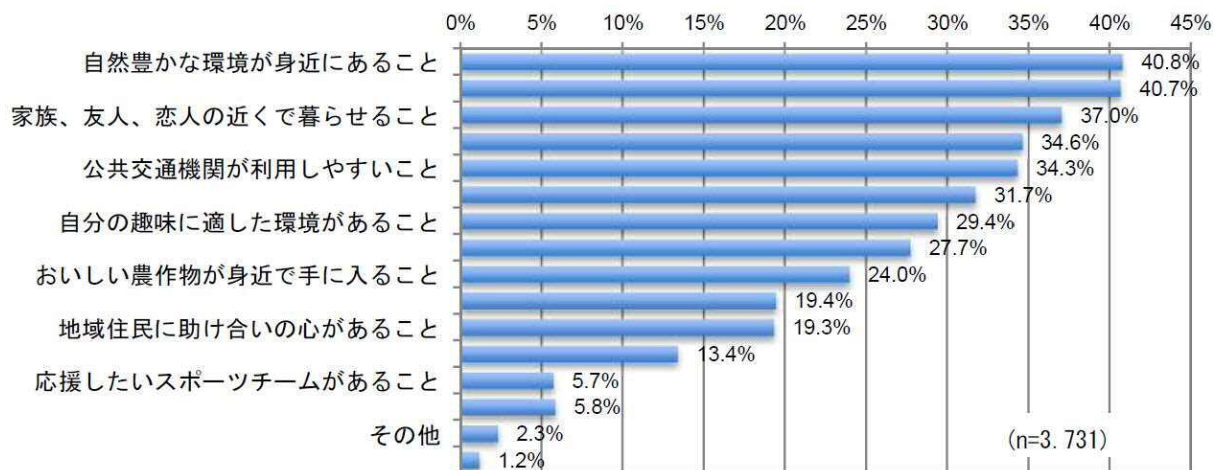
5-B. 就職したい場所

問 将来、就職したい場所はどこですか。(該当する番号1つに○をつけてください。)



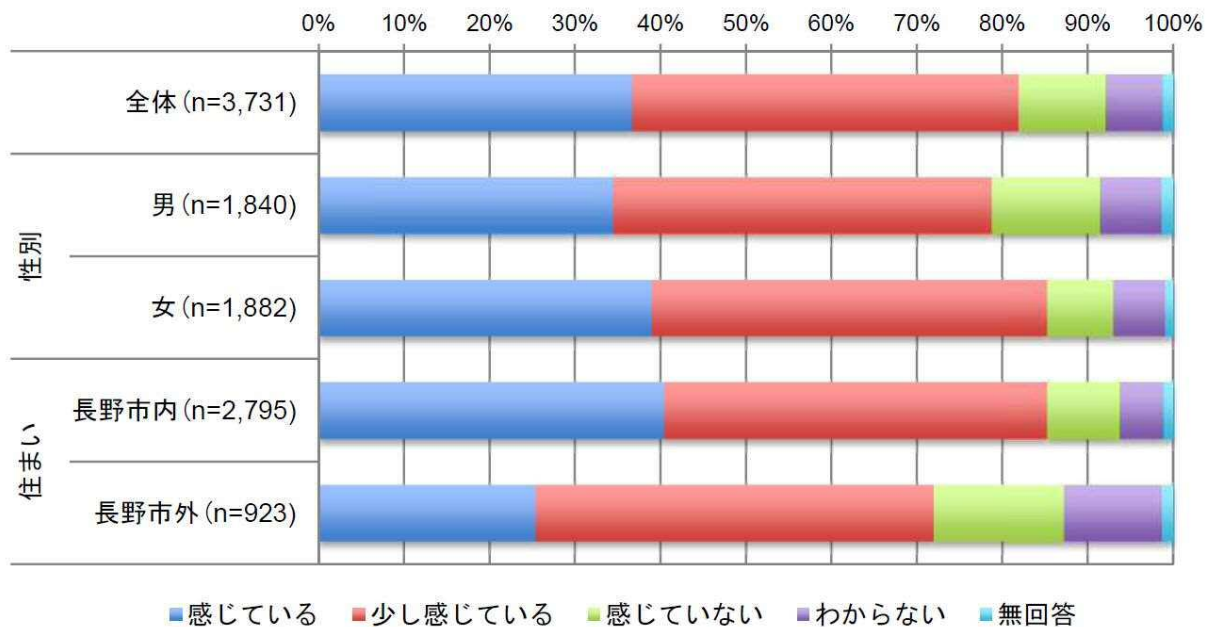
5-C. 地元就職に求めるもの

問 地方では首都圏を中心に若い世代の人口が流出しています。あなたが、もし地元に戻ってくる決断をとした場合、重視することは何ですか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)



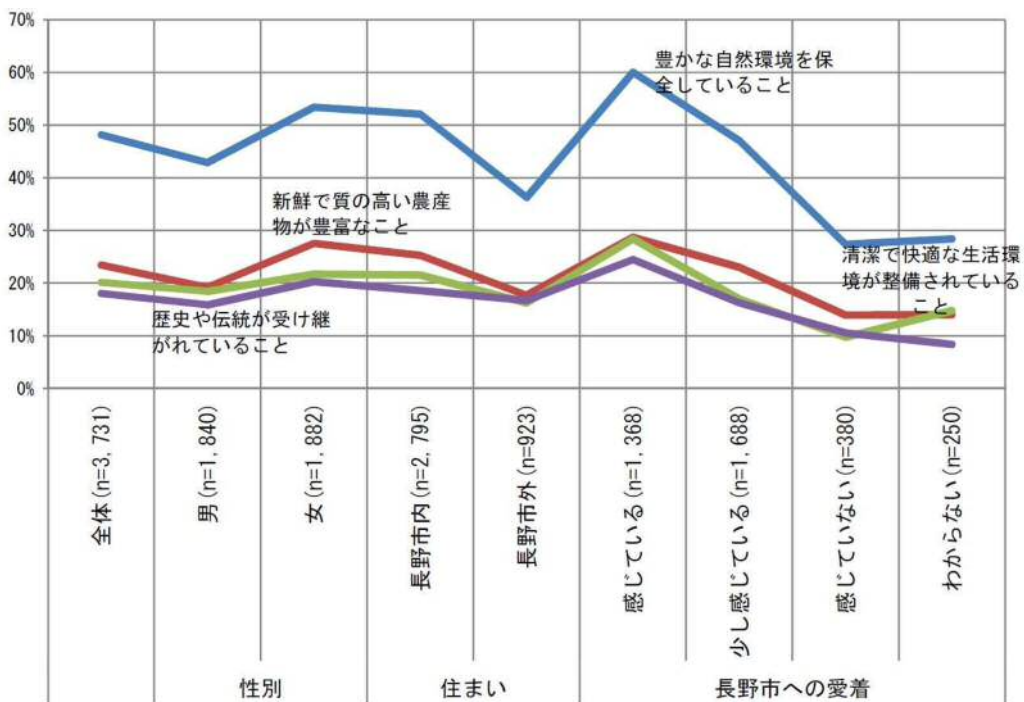
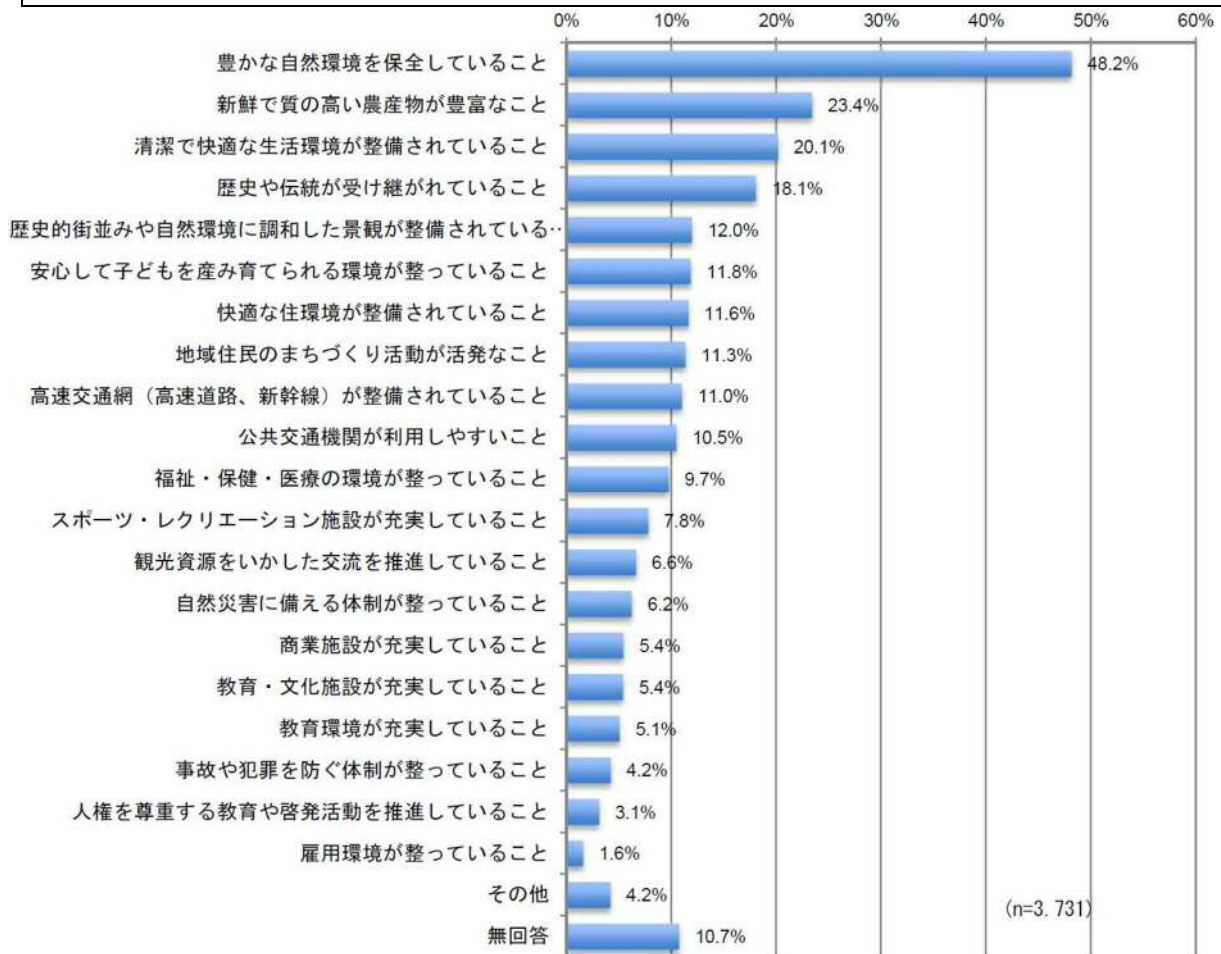
5-D. 長野市への愛着

問 長野市に対して愛着を感じますか。(該当する番号1つに○をつけてください。)



5-E. 長野市に魅力を感じるどころ

問 あなたは長野市のどのようなところに魅力を感じますか。(該当する番号すべてに○をつけてください。)



6. 長野市人口分析基礎調査アンケート（3）市外居住者意識アンケート

調査の概要

1 調査の目的

「長野市人口ビジョン」及び「長野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定に当たり、本市へ観光等で訪れた市外居住者に対して、長野市の印象や移住に関するアンケートを実施することで、本市が目指すべき将来の方向性や基本的な施策の方向性を検討するものである。なお、本調査結果は、「第五次長野市総合計画」を策定する際の基礎資料としても活用する。

2 調査対象

○長野市を観光等で訪れた市外居住者

3 調査方法

○面談によるアンケート調査方式

4 調査期間

○平成27年5月16日（土）、17日（日）、23日（土）及び24日（日）の4日間

5 回収結果

○回収標本数 268 通

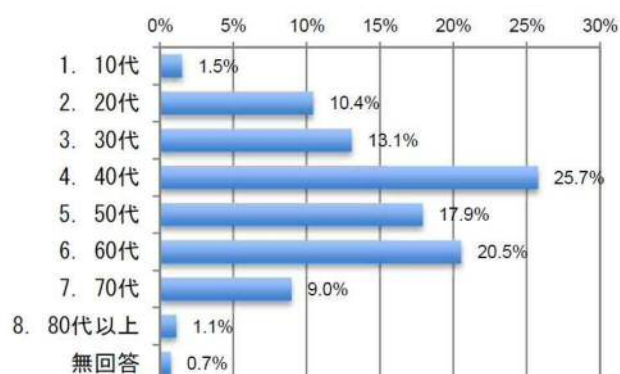
6 集計方法

○電子計算機による集計（委託）

6-A. 訪問者の属性

問 あなたの年齢（1つに○）

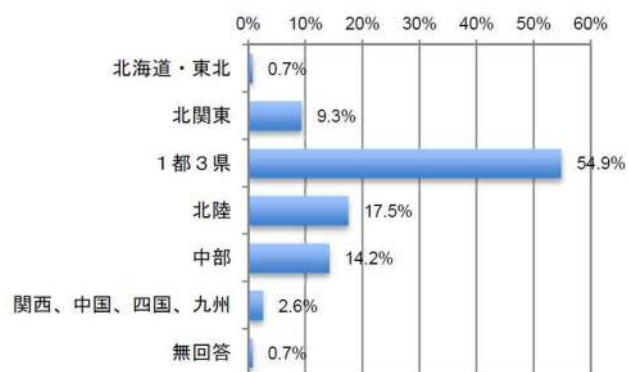
選択肢	回答数	割合
1. 10代	4	1.5%
2. 20代	28	10.4%
3. 30代	35	13.1%
4. 40代	69	25.7%
5. 50代	48	17.9%
6. 60代	55	20.5%
7. 70代	24	9.0%
8. 80代以上	3	1.1%
無回答	2	0.7%
合計	268	100.0%



6-B. 訪問者の居住先

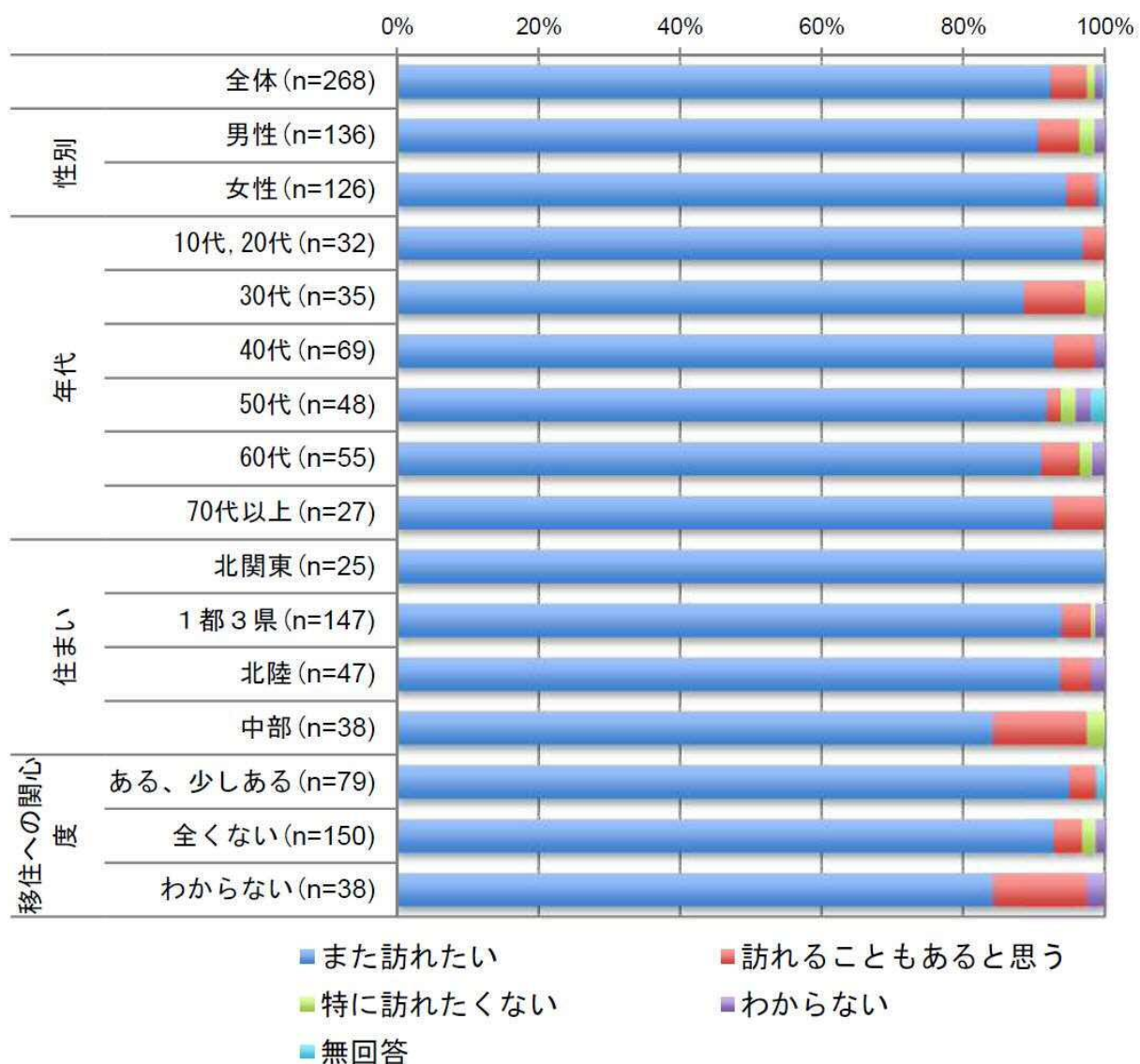
問 あなたのお住まい（1つに○）

選択肢	回答数	割合
北海道・東北	2	0.7%
北関東	25	9.3%
1都3県	147	54.9%
北陸	47	17.5%
中部	38	14.2%
関西、中国、四国、九州	7	2.6%
無回答	2	0.7%
合計	268	100.0%



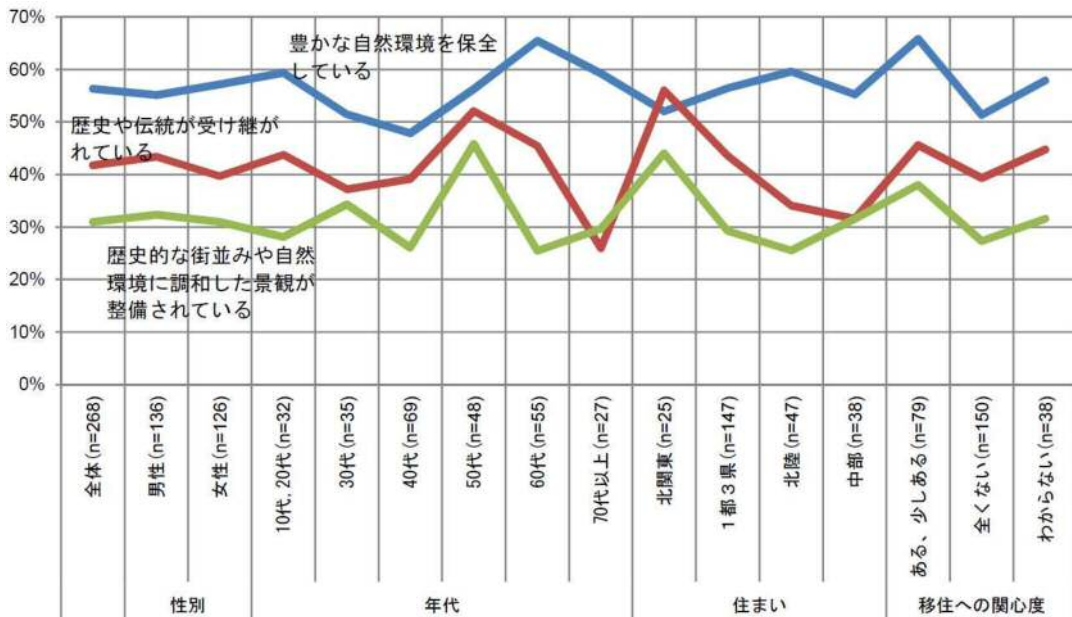
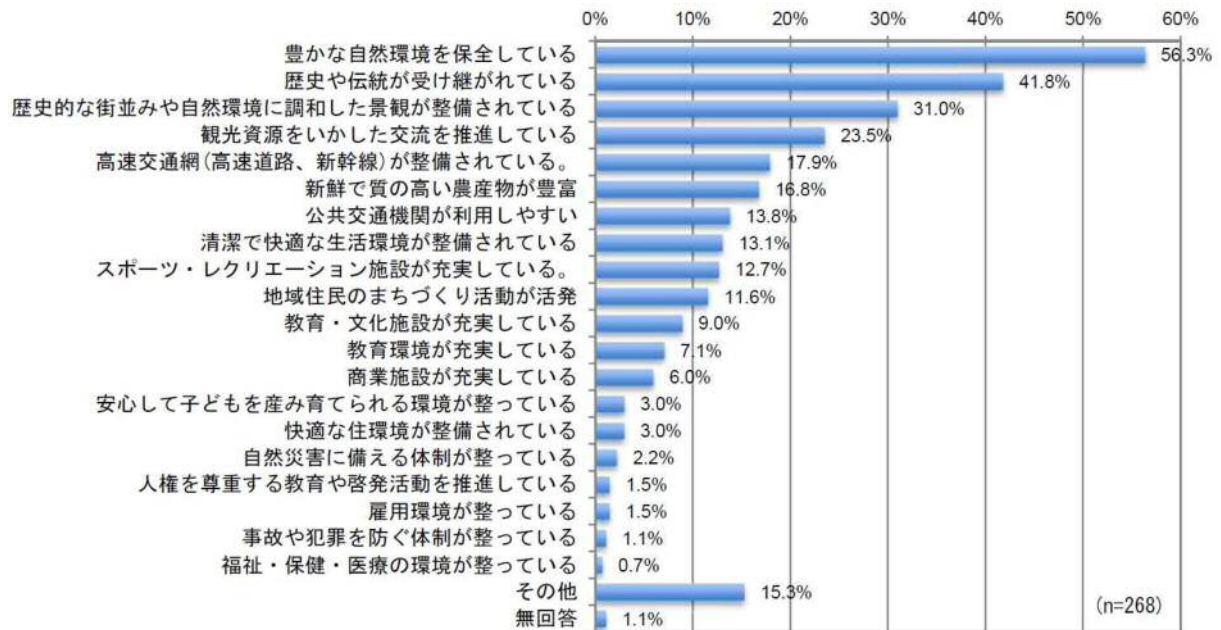
6-C. 再訪意向

問 また、長野市を訪れたいと思いますか。(1つに○)



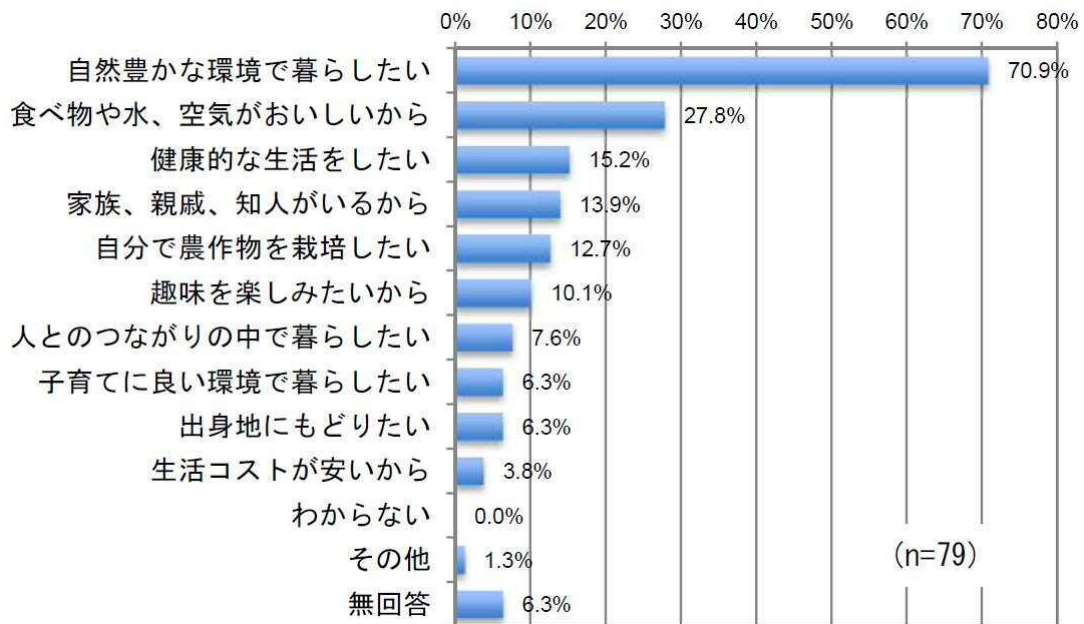
6-D. 長野市の印象

問 あなたは長野市にどのような印象を持ちましたか。(該当するものに○)



6-E. 移住について

問 地方に移住したいと思う理由は何ですか。(該当するものに○)



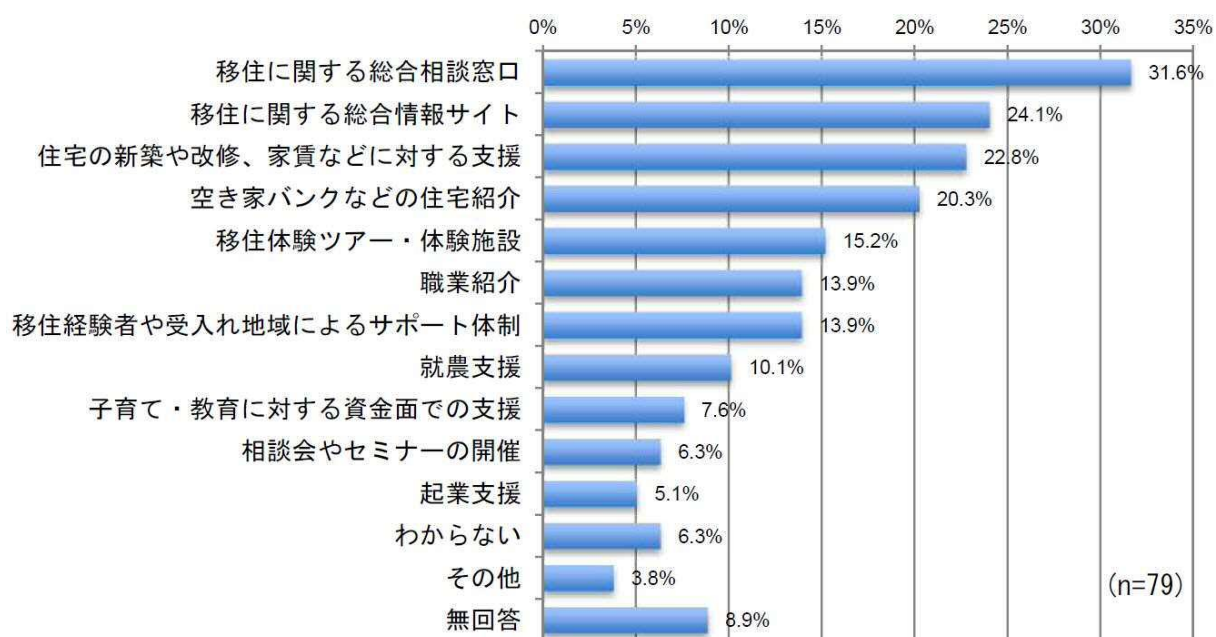
6-F. 移住について

問 移住をする場合、長野市は候補となりますか。(1つに○)



6-G. 移住について

問 移住を考える上での支援策としてどのようなことを希望しますか。(該当するものに○)



7. 農業振興に関する農業者アンケート

調査の概要

(1) 調査の目的

市内農業者の現状や今後の見込み、農業政策に対するニーズなどを調査し、長野市のこれからの農業のあり方や長野市農業振興条例の制定に向けて研究を進め、市の農業施策に関する基礎資料とする

(2) 調査対象

長野市の農家基本台帳に登録されている、10アール以上の農地を耕作している農家

(3) 標本の抽出

農家基本台帳からの無作為抽出

(4) 標本総数

5,000人

(5) 調査方法

アンケート調査票送付（返信用封筒を同封）によるアンケート調査方式

アンケート調査票発送後、回収率を向上させるため、協力をお願いするはがきを郵送

(6) 調査期間

平成26年2月28日（金）から3月14日（金）まで

(7) 回収結果

有効（送達）標本数 4,996件

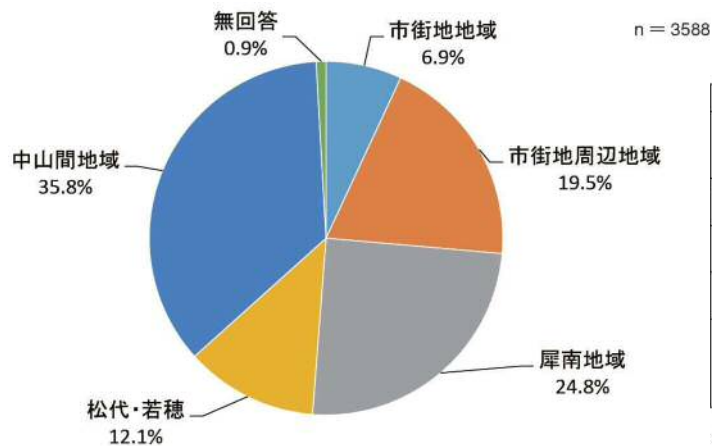
無効（未送達）標本数 4件

回収標本数 3,727件

有効標本回収率 74.6%

7-A. 回答者の属性

問 あなたのお住まいの地区を教えてください。次の中からお住まいの地区の番号に○をしてください。



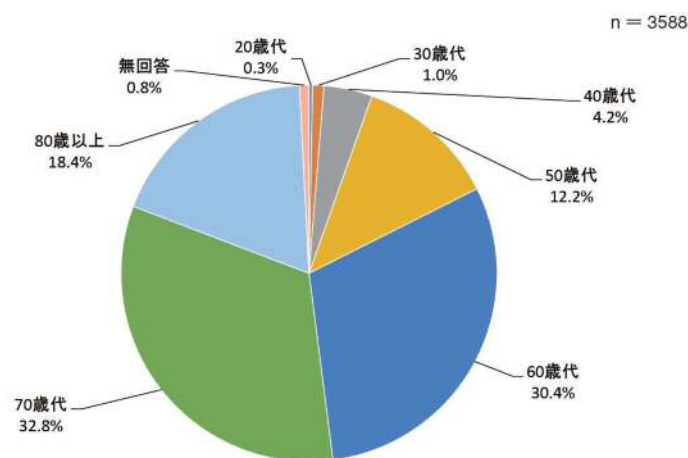
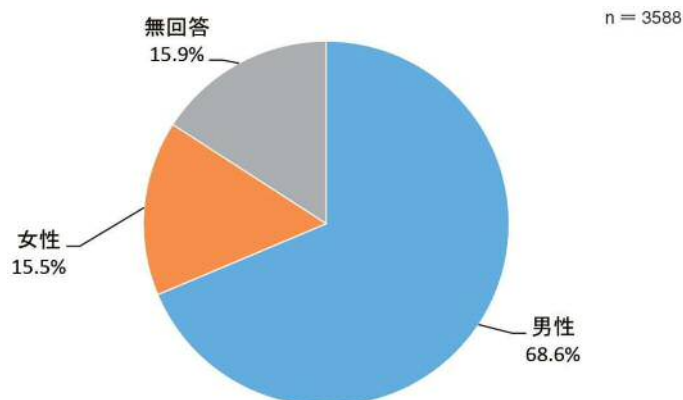
地域区分別構成

地域区分	地区名
市街地地域 (10地区)	第一地区、第二地区、第三地区、第四地区、第五地区、芹田地区、古牧地区、三輪地区、吉田地区、安茂里地区
市街地周辺地域 (7地区)	古里地区、柳原地区、大豆島地区、朝陽地区、若槻地区、長沼地区、豊野地区
犀南地域 (3地区)	篠ノ井地区、川中島地区、更北地区
松代・若穂 (2地区)	松代地区、若穂地区
中山間地域 (13地区)	浅川地区、小田切地区、芋井地区、篠ノ井 信里、松代 西条・豊栄、若穂 保科、七二会地区、信更地区、戸隠地区、鬼無里地区、大岡地区、信州新町地区、中条地区

※篠ノ井、松代、若穂の一部、及び浅川地区を中山間地域として集計

7-B. 回答者の属性

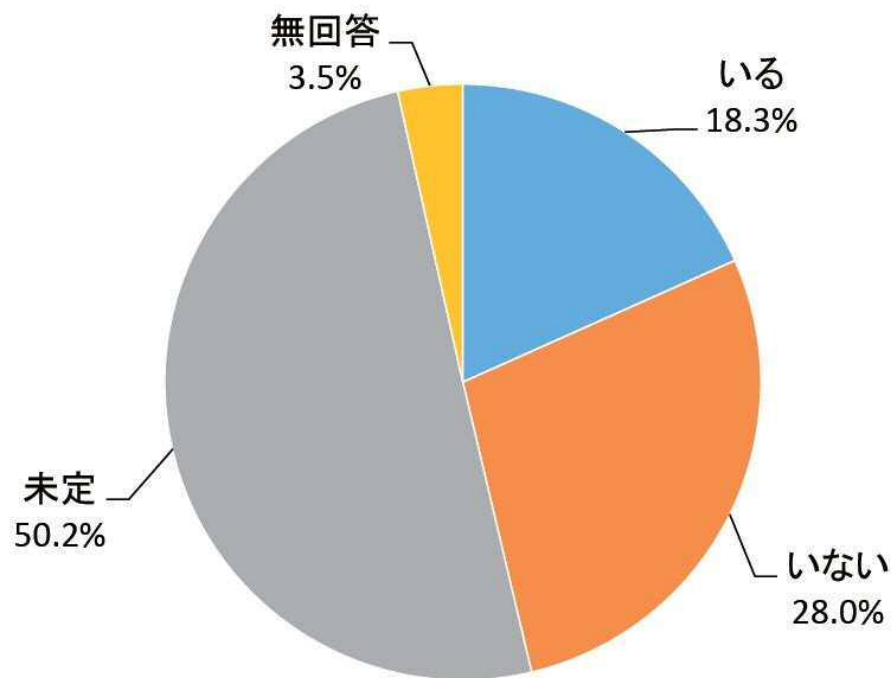
問 あなたの年代、性別を教えてください。次の中からあてはまる番号に○をしてください。



7-C. 後継者について

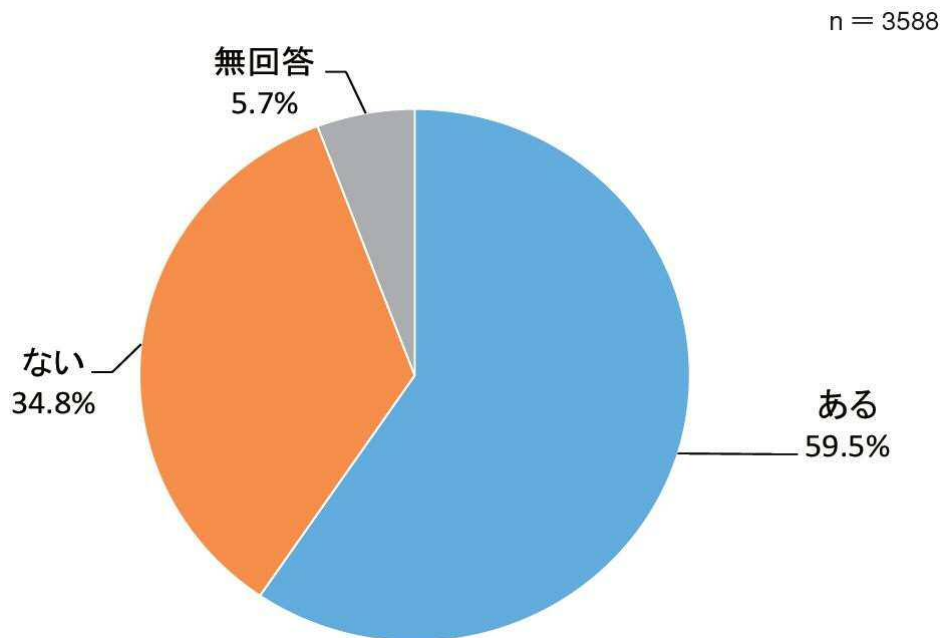
問 あなたの農業経営に後継者はいますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

n = 3588



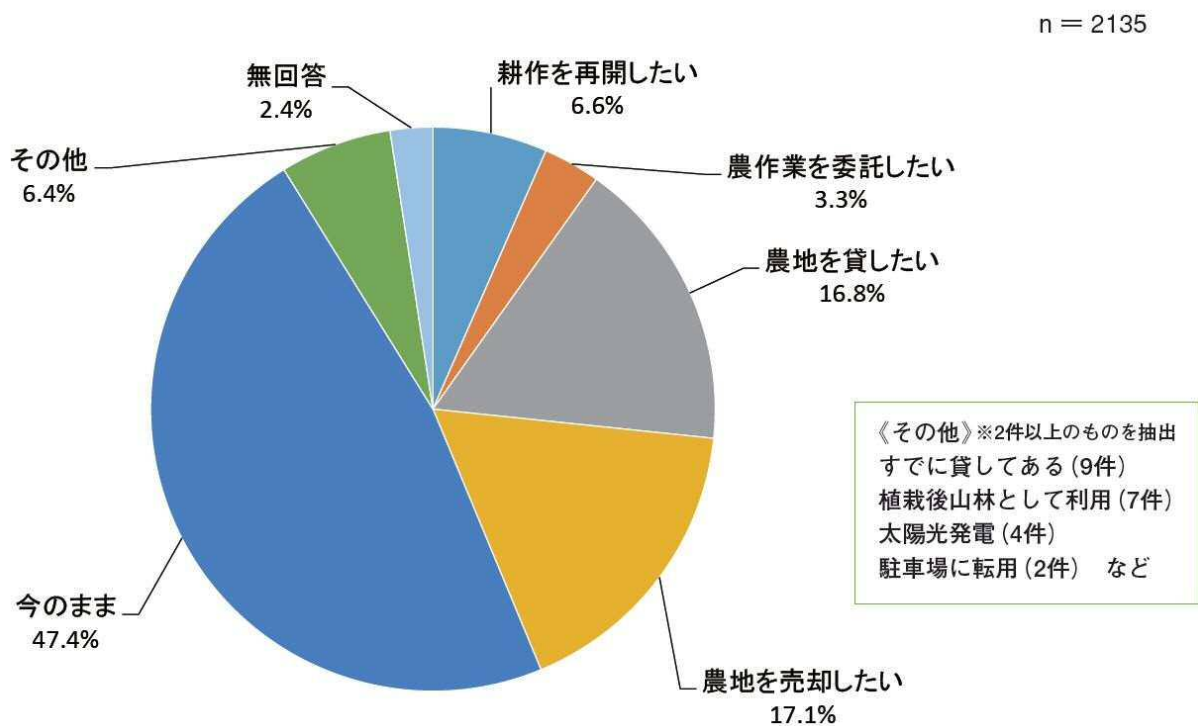
7-D. 耕作放棄地の有無

問 あなたが所有している農地で耕作していない農地はありますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。



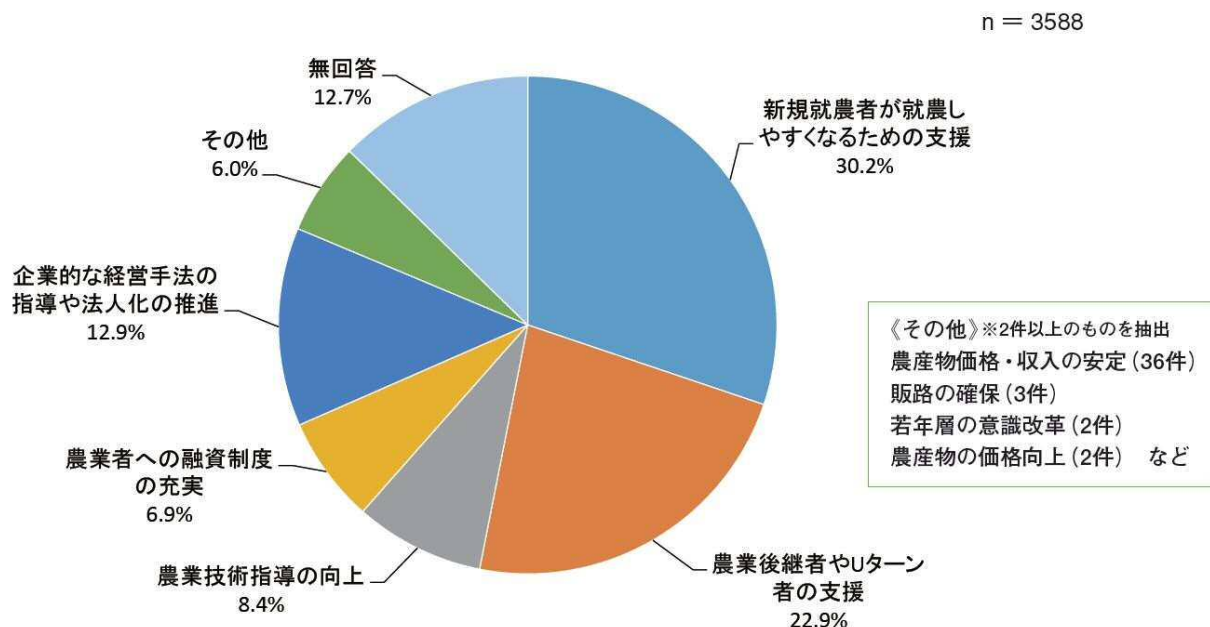
7-E. 耕作放棄地の利用意向

問 耕作していない農地が「ある」と答えた方にお聞きします。今後、どのように利用していきたいですか。次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。



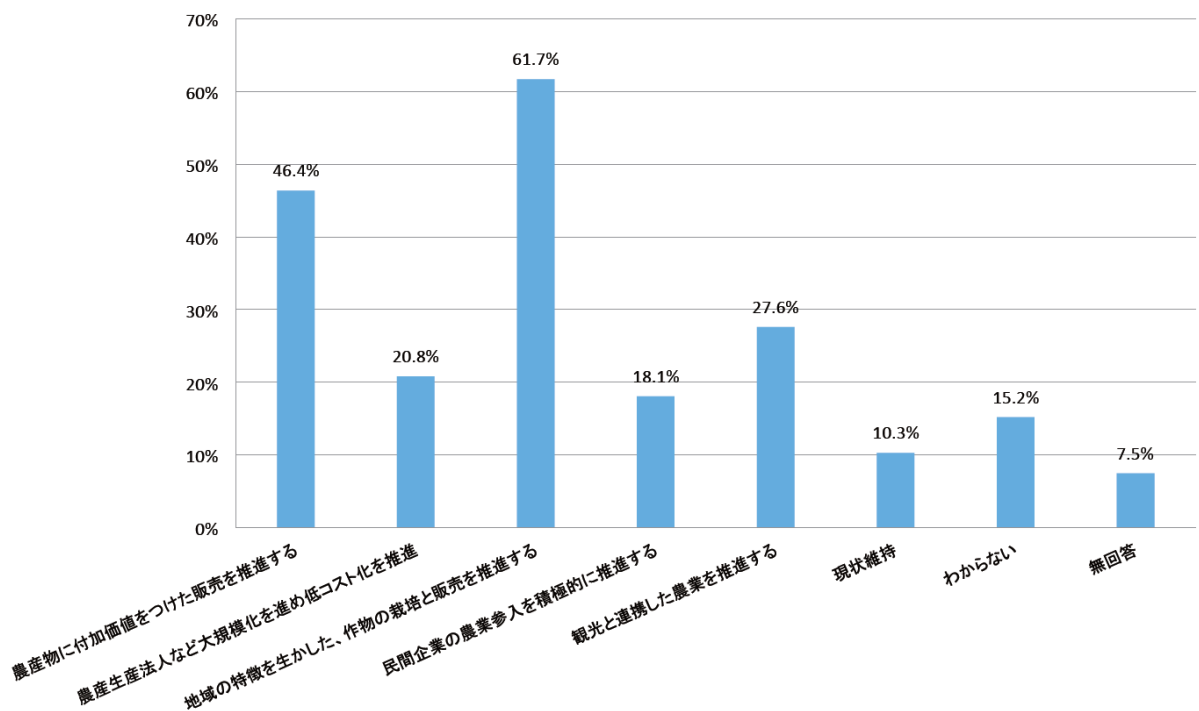
7-F. 農業の担い手について

問 あなたは、農業の担い手の確保や育成のためには、何が必要だと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。



7-G. 長野市の今後の農業について

問 あなたは、10年後の長野市の農業は、どのようにしたら良いとお考えですか。次の中から3つ以内で選んで番号に○をしてください。



7-H. 農業政策について

問 生産者の立場から長野市の農業政策に期待することはどんなことですか。
次の中から5つ以内で選んで番号に○をしてください。

